

長岡京市まちづくりのための市民アンケート調査
報告書（速報）

目次

1. 調査概要	1
2. 調査結果概要	3
3. 調査結果	6
1. 回答者の状況	6
(1) 年代	6
(2) 性別	6
(3) 居住小学校区	7
(4) 転入歴と転入時期	8
(5) 世帯構成	9
(6) 暮らしの幸福度や満足度	10
2. 長岡京市の住み心地	13
(1) 定住意向	13
(2) 定住・移住理由	15
(3) 長岡京市で自慢できるもの・誇りに思うもの.....	16
3. 市の政策の満足度と重要度	18
(1) 市の政策の満足度	18
(2) 市の政策の重要度	24
(3) 満足度と重要度の関係	29
4. 地域との関わりや地域活動・市民活動について.....	38
(1) 地域との関わり等について	38
(2) 自治会や地域コミュニティ協議会との関わり.....	40
(3) 市民活動への参加状況等	42
5. 個別施策について	44
(1) 災害が発生しそうな時や発生した時にどのような方法での情報提供で避難をするか.....	44
(2) 家庭での災害の備え	45
(3) 持ち家の将来的な扱いについて（持ち家に居住している人のみ回答）.....	45
(4) 市民の利便性向上のために必要なデジタル化の取組.....	46
(5) 市政に関する情報の入手手段	47
(6) 市政で知りたい情報と情報を得る手段.....	48
(7) 市内での買物等の状況	54

1. 調査概要

① 調査の目的

この調査は「長岡京市第4次総合計画」の策定から9年が経過し、令和7年度に「第2期基本計画」が目標年度を迎えることから、次期計画となる「第3期基本計画」を策定するにあたって、まちづくりに対する評価やニーズ等の市民意見を広く把握することを目的に実施しました。

② 調査方法・期間

【調査対象】

長岡京市在住の18歳以上の市民

【選定方法】

無作為抽出

抽出数：4,000人 抽出基準日：令和6年7月1日現在

【調査の方法】

調査は無記名とし、令和6年7月10日（水）～7月31日（水）を調査期間として、郵送及びWEB回答により実施しました。

③ 配付回収の状況

有効回答数：1,604件／有効回答率：40.1%

《回収率向上のための工夫》多くの回答を得られるよう、調査の実施にあたり3つの工夫をしました。

その1：封筒にメッセージの工夫

その2：調査票の表紙（回答依頼文）の工夫

その3：WEBでの回答も可能

関心を引く

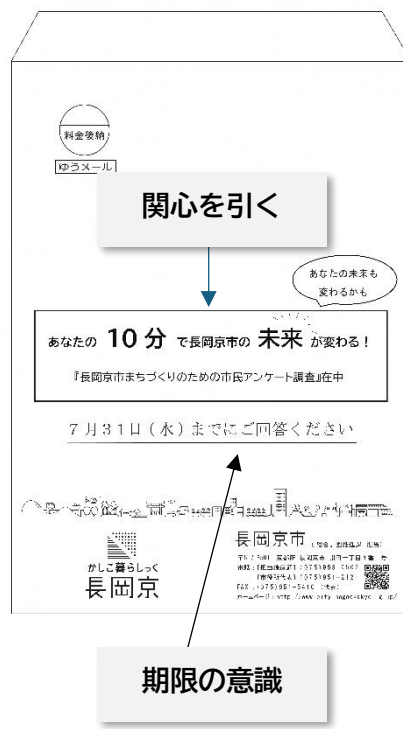
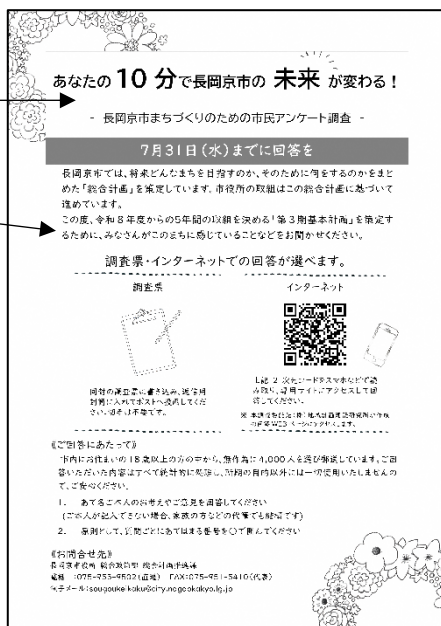
端的なメッセージ

- ・ 回答方法を簡潔に
- ・ 期限の意識

回収率の向上に成功

36.1%→40.1%

- ・ WEB回答があることで50歳代以下の回収率が向上
- ・ 40代以下はWEBでの回答が50%以上



④ 調査結果について

今回の調査は標本調査のため、本結果が母集団（長岡京市の18歳以上人口）の意識や課題としてどの程度の精度があるものなのかを以下の数式で求めました。

世論調査では、信頼度95%（同じ調査を対象を変えて行った場合に、100回中95回は同様の結果が得られると考えてもよい）の水準を求めることが一般的とされており、これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差を算出しました。この結果、標本誤差=2.42%（小数第3位四捨五入）となり、母集団の回答は今回のアンケート調査結果の±2.42%の区間に95%の確率で存在すると言えます。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

±1.96：信頼度95%の時の係数

N：母集団数（調査時点の長岡京市の18歳以上人口：68,795） n：標本数（有効回答数：1,604）

P：標本測定値0.5（50%（0.5）のときに最大となるため0.5で計算）

2. 調査結果概要

■ 回答者の状況

- 「30代」が1割、「40代」「50代」が1.5割となっています。70歳以上の回答が約4割を占めています。子育て中の人（未就学児がいる）は約1割となっています。
- 「長岡第五小学校区」が最も多く2割弱、次いで「長岡第四小学校区」「神足小学校区」が1割強となっています。
- 昭和50年以前に転入した人が最も多く約2.5割、平成28年以降に転入した人が約2割となっています。
- 世帯構成は親と子からなる2世帯家族が約4割、2人世帯（夫婦、パートナーのみ）が約3割、単身世帯が約2割となっています。

■ 定住意向

- 定住意向（「住み続けたい」「できれば住み続けたい」）は約9割で前回調査と同程度であるものの、「住み続けたい」が前回調査から減少しています。
- 属性別にみると、20歳代、30歳代では移住意向（「できれば移りたい」「移りたい」）が他の年代よりも多くなっています。小学校区別では「長岡第八小学校区」「長岡第三小学校区」は移住意向が他の小学校区よりも多くなっています。長岡京市に住んで10年以下（平成28年以降に転入）は移住意向が他の居住年数よりも高くなっています。
- 定住理由は前回調査と同様に「生活利便性が高い」が約6割、「自然環境が良い」が約5割、「地域への愛着」が約3割となっています。
- 移住理由は「娯楽や文化などの生活の楽しみが不足」が最も多く約3割、「福祉や教育など市民サービスが不足している」が約2.5割となっています。前回調査で移住理由として上位であった「生活利便性が低い」「地域への愛着がない」は少なくなっています。

■ 暮らしの幸福度・満足度

- まちづくりは、市民の幸福度が高まることが最終目的であるとの考えのもとで、国が調査する地域幸福度（Well-Being）指標を本市においても調査しました。
- 各項目の平均は「自分の幸福度」が3.6点（府内3.3点）、「自分からみた地域の人々の幸福度」が3.4点（府内3.2点）、「地域の暮らしの満足度」が3.5点、（府内3.4点）「自分だけでなく周りの人も楽しい気持ちでいるか」が3.3点（府全域3.3点）となっています。府内の数値と同程度です。
- 年代別では、「30代」「40代」において自分の幸福度が他の年代よりも高くなっています。

■ 市の政策の満足度・重要度

《満足度（「満足」「やや満足」の合計）/不満足度（「やや不満」「不満」の合計）》

- 満足度は「保健・医療」が最も多く約4割、「水資源」「市街地」が続く。
- 不満足度は「道路・交通」が最も多く約3割、「市街地」「産業」が続く。「市街地」は満足と不満に評価が分かれています。
- 前回調査から「保健・医療」「高齢福祉・障がい福祉」「社会保障」の満足度が増加し、「脱炭素」「就学前教育・保育」「環境共生」の満足度が低下しています。
- 「道路・交通」は「長岡第四小学校区」で満足度が高く、「長岡第七小学校区」「長岡第十小学校区」で不満足度が他の小学校区よりも多くなっています。

《重要度（「重要」「やや重要」の合計）》

- 重要度は「水資源」が最も多く約7.5割、「道路・交通」「高齢福祉・障がい福祉」が続き、これらが7割を超えています。

《満足度が低く、重要度が高い政策分野》

- 「地域子育て支援」「社会保障」「道路・交通」は、満足度が低く、重要度が高くなっています。

■ 地域との関わりや地域活動・市民活動について

- 地域に愛着を持っている人は約6割、小学校区による差はありませんでした。
- 地域活動の活動状況について、全体では約3割が盛んだと感じ、小学校区別では「長岡第五小学校区」が多く、「長法寺小学校区」が他の小学校区よりも少なくなっています。
- 地域コミュニティ協議会を知らない人が全体で約3.5割、小学校区別では「神足小学校区」の認知が低くなっています。

■ ペルソナ分析の結果

アンケートと回答者を属性（性別、年齢、居住地区）に加えて、趣味嗜好、価値観等を踏まえて、人物像を設定し（ペルソナ）、施策の満足度、地域活動への関心などに係る分析をしました。

人物設定（ペルソナ）	長岡京市での暮らし、好きなところなど	関心のあるまちづくり領域
<u>長岡京市に住んで3年。子育てに毎日一生懸命な世代</u> ・ 30代女性。 ・ 夫（30代）、子ども2人（小学生と未就学児）と暮らしている ・ パートタイムで市内で勤務。 ・ 賃貸マンションに住んで3年。	・ 緑の多さ、自然環境に特に魅力を感じていない。 ・ 日用品の買い物は市内の小売店を利用。 ・ 趣味や外食、友人と出かけるなどはほとんど市外。	・ 子育て、教育環境に関心が高い。現状の子育て環境に十分に満足はしていない。少しでも子育ての環境をよくしたいと考えており、そのためなら市外への引っ越しも考えている。
<u>仕事が忙しく休日は家でのおんびり過ごしたいお一人様</u> ・ 40代男性 ・ 1人暮らし ・ 会社員、大阪市内に通勤 ・ 仕事の時以外、のんびりとした「おうち時間」を最優先。 ・ 賃貸マンションに住んで約10年。	・ 京都市内、梅田へ出るには便利。 ・ 自然、歴史文化への関心は低い。 ・ 趣味や娯楽の消費は主に市外。	・ 市の取り組みへの関心がなく、多くの政策分野の満足度、重要度が総じて低い。
<u>子育てがひと段落。長岡京市が好きなゆったり人暮らし</u> ・ 50代男性 ・ 妻（50代）、高校生の子ども1人と暮らしている ・ 会社員、京都市内に通勤 ・ 自宅を購入し、住んで約25年。子育てを長岡京市でした。	・ 歴史文化、自然を感じられる環境が気に入っている。 ・ 長岡京での暮らしが気に入っており、このまま住み続けたいと思っている。 ・ 地域活動には参加していないが、ご近所との関係は良い。	・ 子育て・教育環境、生涯学習、市街地、道路・交通の満足度が高い。
<u>地元を満喫したいシニア世代</u> ・ 70代女性 ・ 定年退職した夫（70代）と2人暮らし、子どもは成人して独立している。 ・ 自宅を購入し、住んで50年近く経つ。	・ 日用品から家電製品まで必要な物は市内の小売店を利用。 ・ 歴史文化、自然を感じられる環境が気に入っている。 ・ 地域に愛着があり、地域活動にも積極的に参加。	・ 保健・医療、高齢福祉への関心が高い。

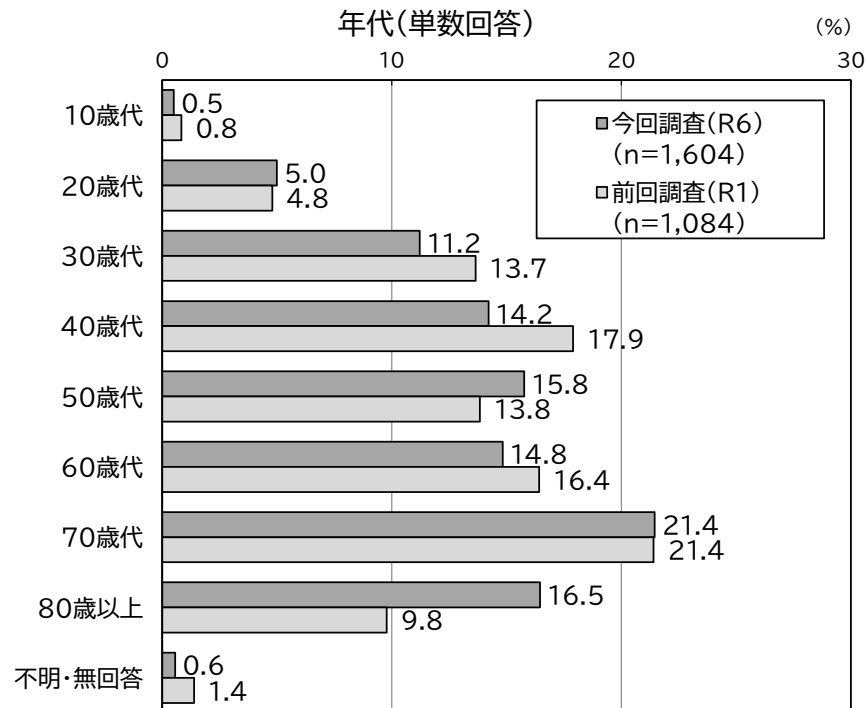
3. 調査結果

1. 回答者の状況

(1) 年代

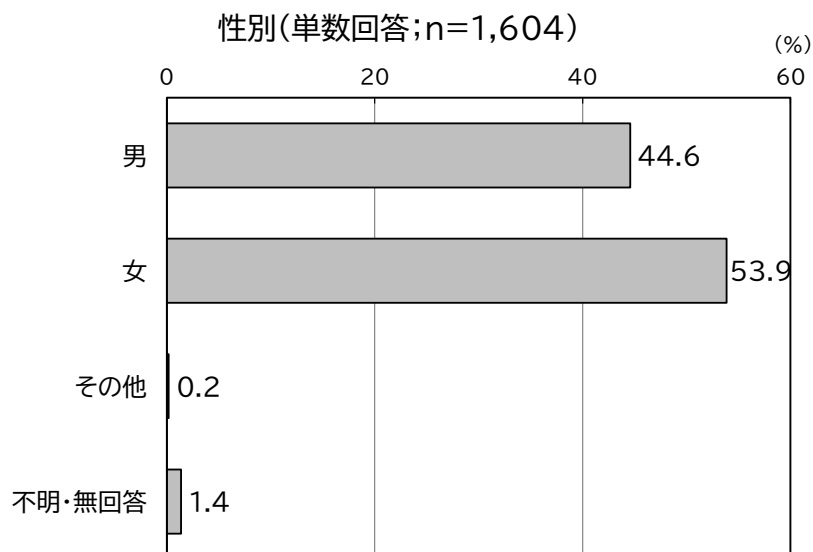
「70 歳代」が最も多く 21.4%、次いで「80 歳以上」が 16.5%、「50 歳代」が 15.8%などとなっています。

前回調査と比較して、「80 歳以上」が多くなっています。



(2) 性別

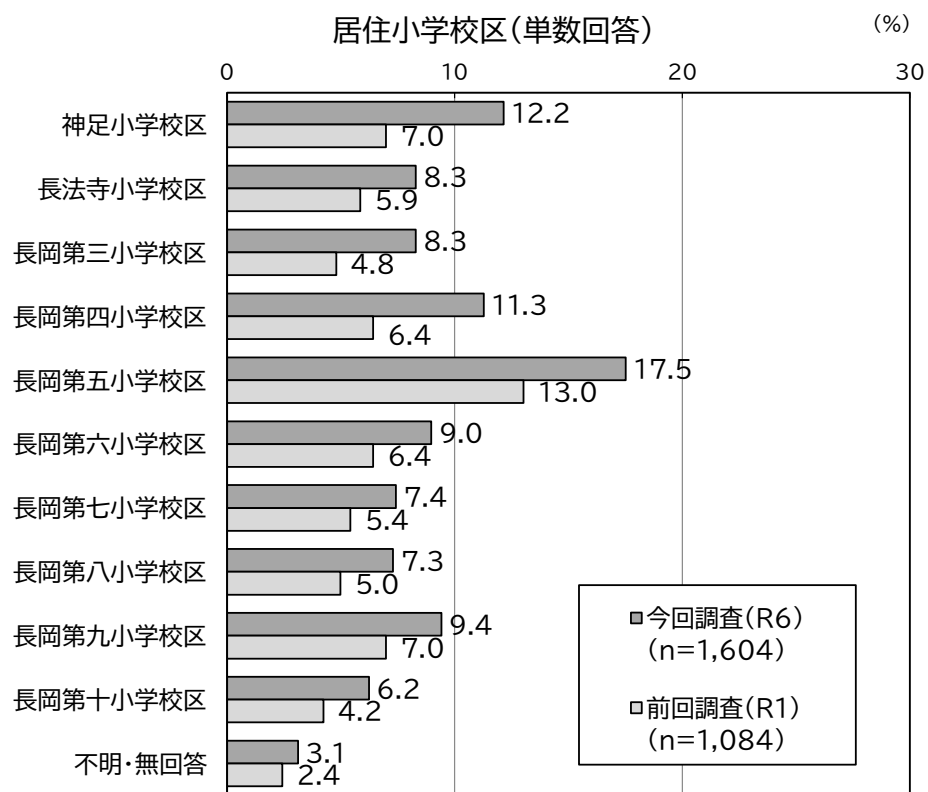
「男」が 44.6%、「女」が 53.9%などとなっています。



(3) 居住小学校区

「長岡第五小学校区」が最も多く 17.5%、次いで「神足小学校区」が 12.2%、「長岡第四小学校区」が 11.3%などとなっています。

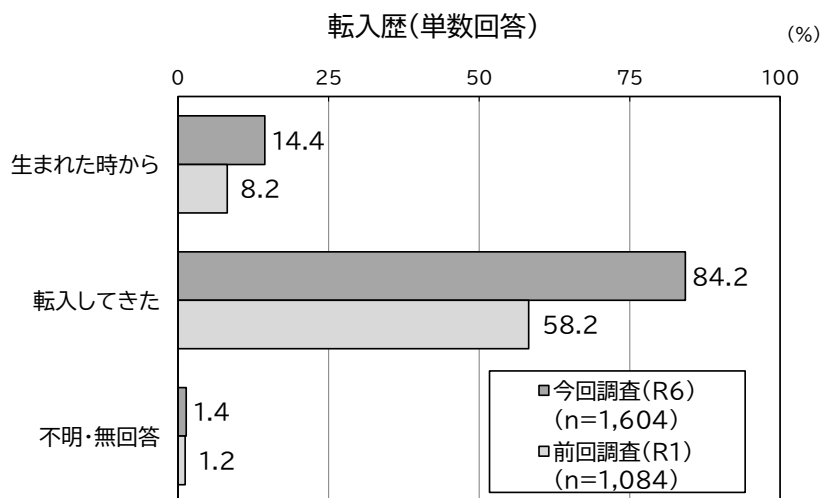
前回調査と比較して、「神足小学校区」が多くなっています。



(4) 転入歴と転入時期

① 転入歴

「生まれた時から」が14.4%、「転入してきた」が84.2%となっています。

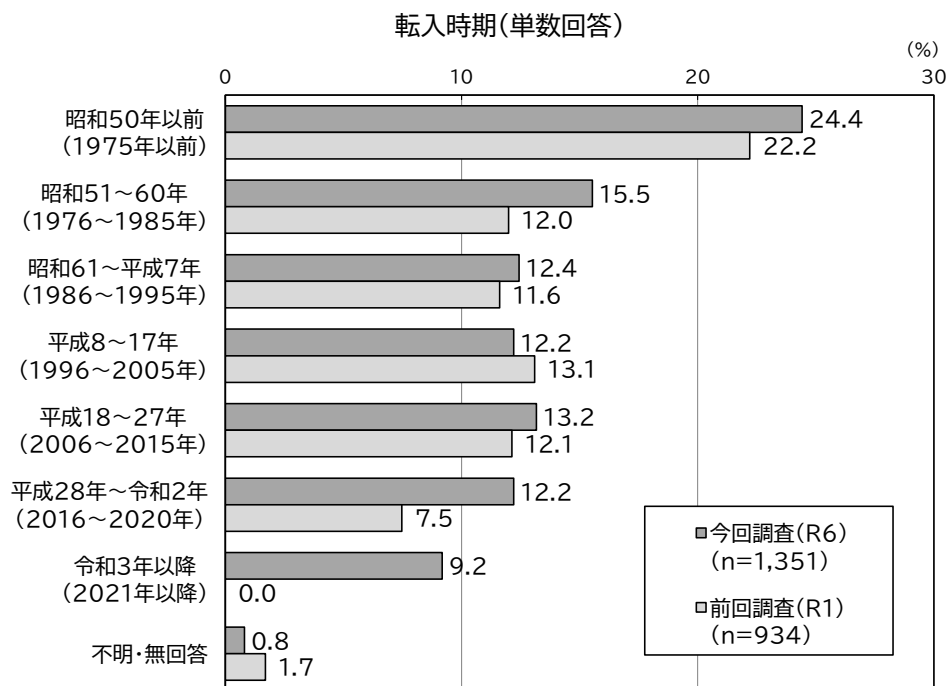


② 転入時期

「昭和 50 年以前 (1975 年以前)」が最も多く 24.4%、次いで「昭和 51～60 年 (1976～1985 年)」が 15.5%、「平成 18～27 年 (2006～2015 年)」が 13.2%などとなっています。

「令和 3 年 (2021 年) 以降」の転入が 9.2%、平成 28 年以降を合わせると 10 年以内の転入が 21.4%となっています。

前回調査と比較して、「平成 28 年～令和 2 年 (2016～2020 年)」が多く、「平成 8～17 年 (1996～2005 年)」が少なくなっています。

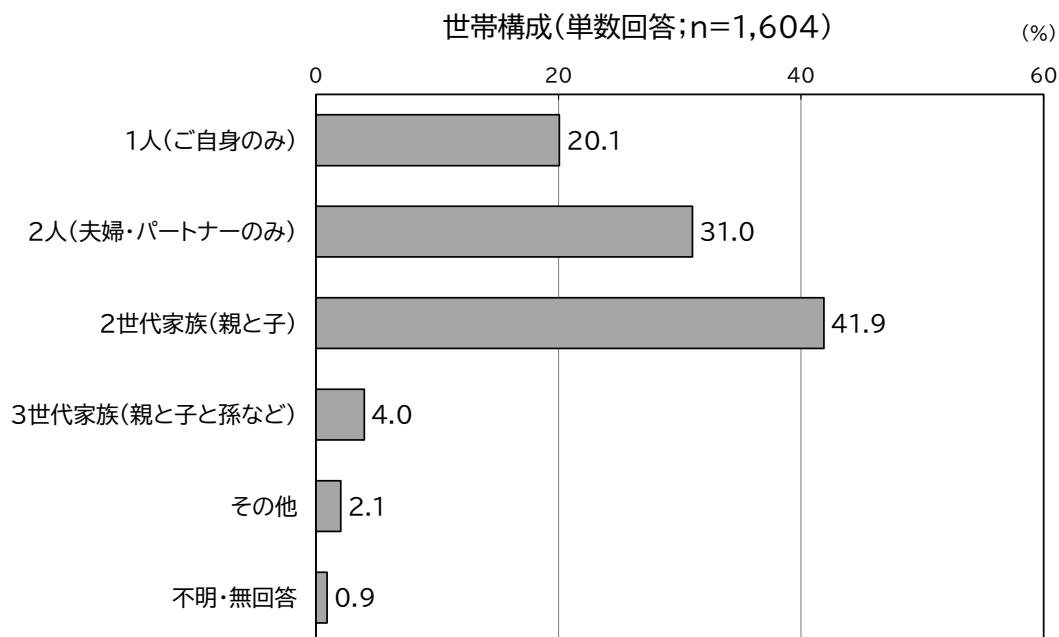


※ 「令和 3 年以降 (2021 年以降)」は今回調査のみ設定

(5) 世帯構成

① 世帯構成

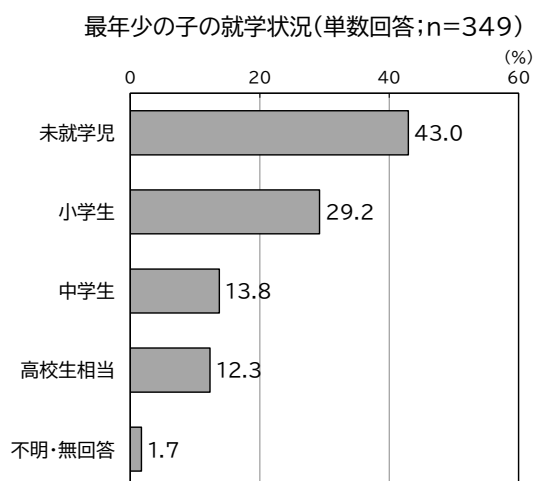
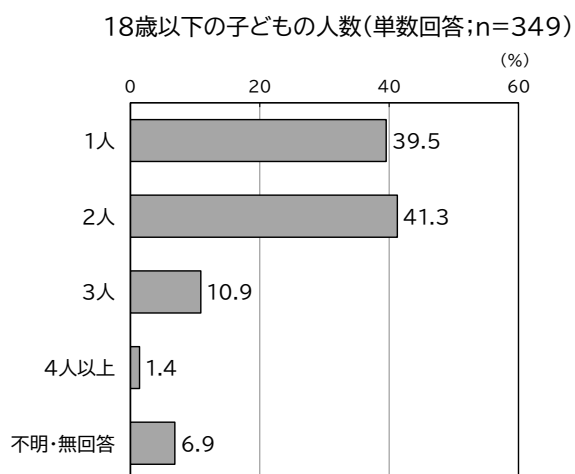
「2世代家族（親と子）」が最も多く41.9%、次いで「2人（夫婦・パートナーのみ）」が31.0%、「1人（ご自身のみ）」が20.1%などとなっています。



② 18歳以下の子どもの有無と最年少の子の就学状況

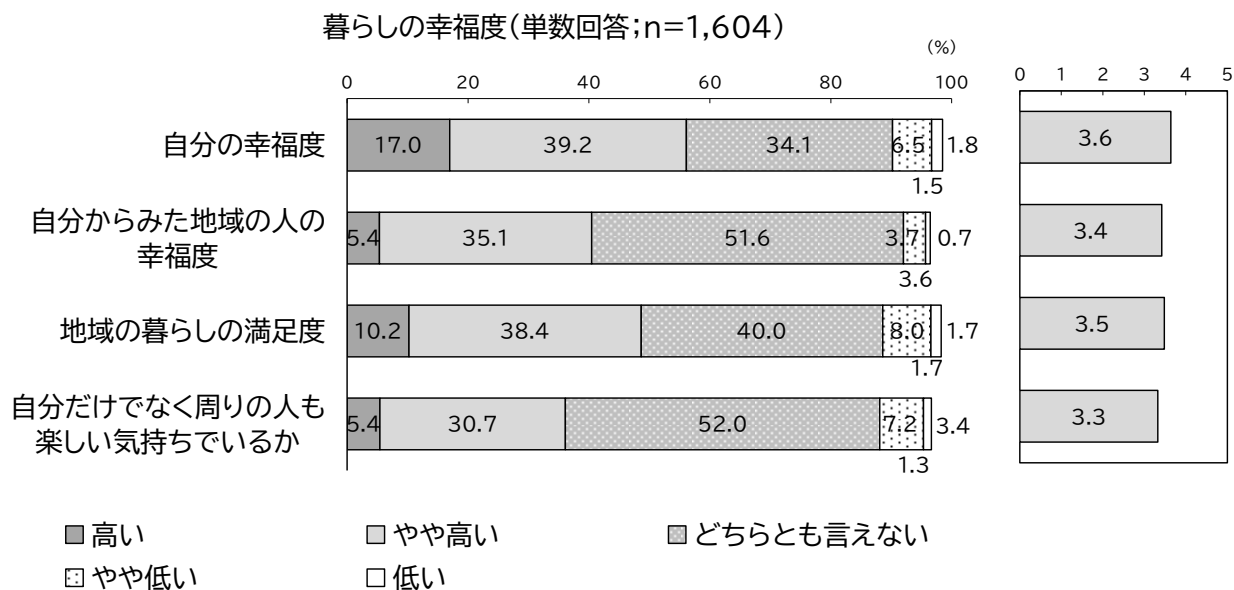
同居する家族に18歳以下の人がいるのは349人、「2人」が最も多く41.3%、次いで「1人」が39.5%などとなっています。平均人数は1.72人となっています。

最年少の子の就学状況等をみると、「未就学児」が最も多く43.0%、「小学生」が29.2%などとなっています。



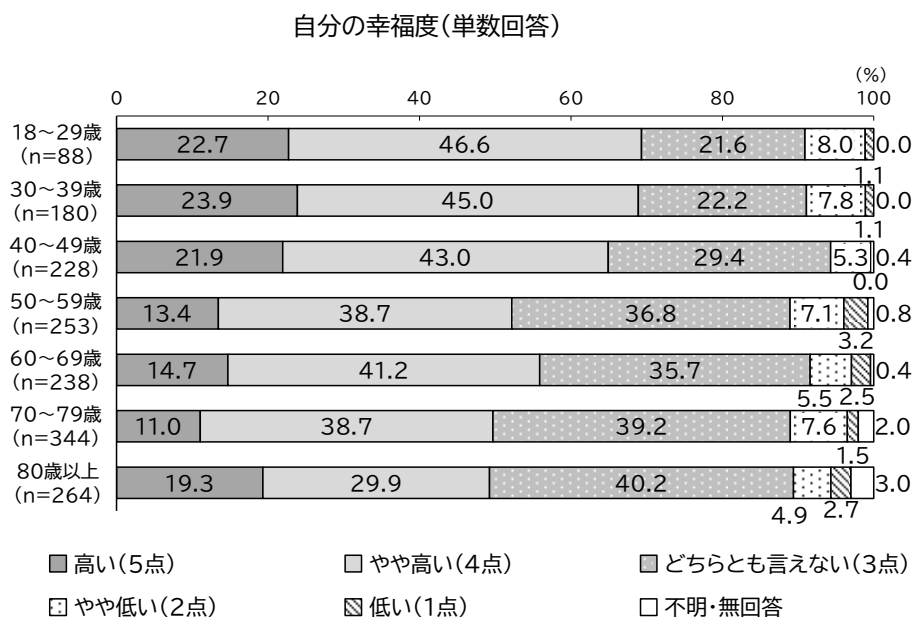
(6) 暮らしの幸福度や満足度

「やや高い(4点)」が最も多く39.2%、次いで「どちらとも言えない(3点)」が34.1%、「高い(5点)」が17.0%などとなっています。また、小学校区による差はありませんでした。



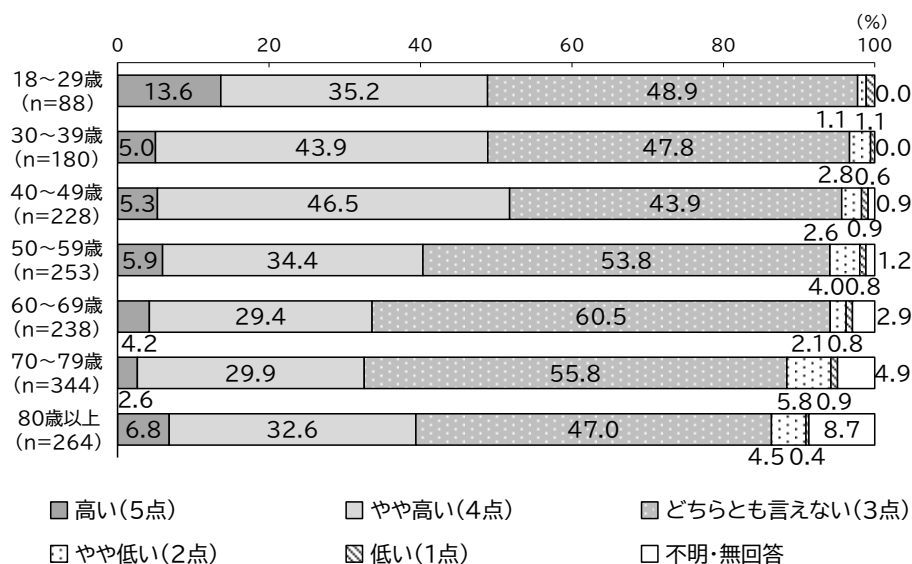
【年代別】

年代別にみると、「自分の幸福度」について「30～39歳」「40～49歳」は「高い」が他の年代よりも多く、「70～79歳」は「高い」が他の年代よりも少なくなっています。



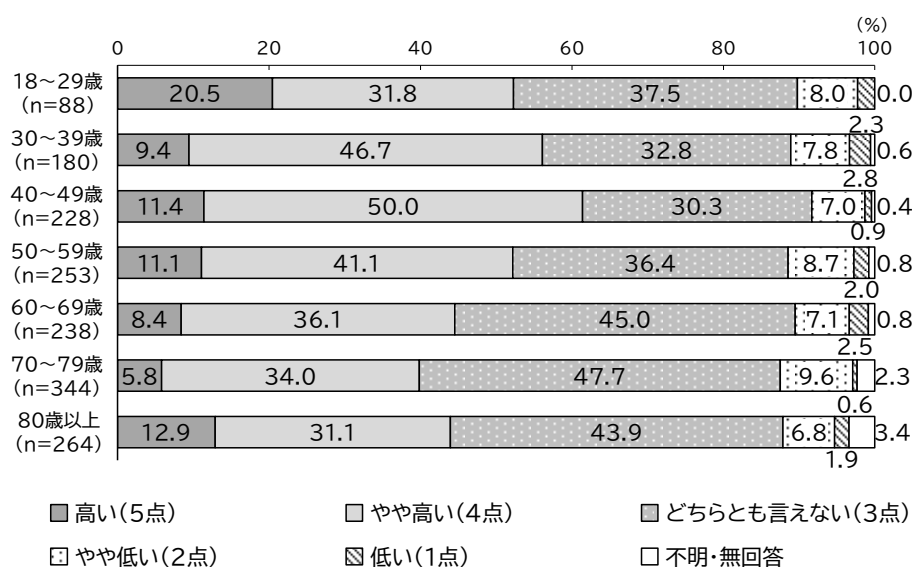
「自分からみた地域の人の幸福度」について、「18～29歳」は「高い」が、「40～49歳」は「やや高い」が他の年代よりも多くなっています。

自分からみた地域の人の幸福度(単数回答)



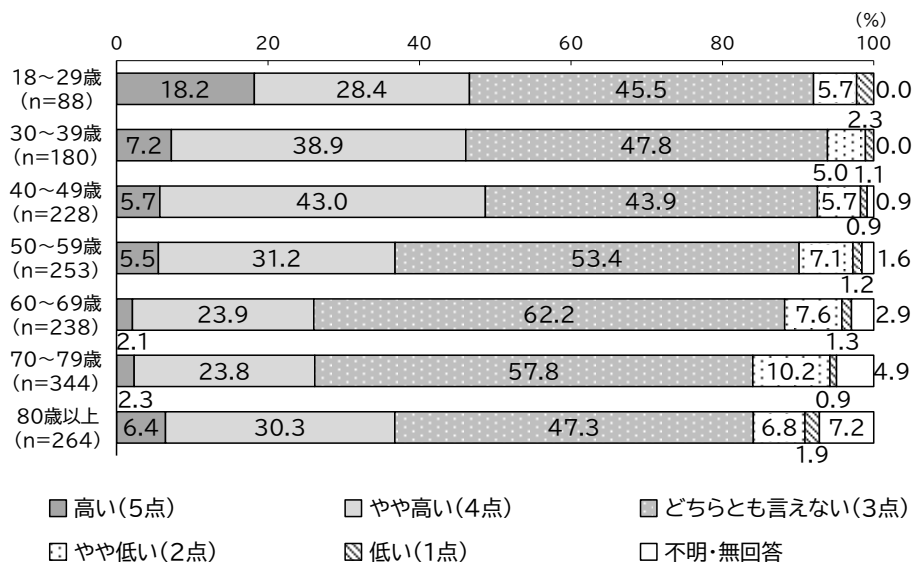
「地域の暮らしの幸福度」について、「18～29歳」は「高い」が、「40～49歳」は「やや高い」が他の年代よりも多く、「70～79歳」は「高い」が他の年代よりも少なくなっています。

地域の暮らしの幸福度(単数回答)



「自分だけでなく周りの人も楽しい気持ちでいるか」について、「18～29歳」は「高い」が「40～49歳」は「やや高い」が他の年代よりも多くなっています。「60～69歳」「70～79歳」は「高い」が他の年代よりも少なくなっています。

自分だけでなく周りの人も楽しい気持ちでいるか(単数回答)

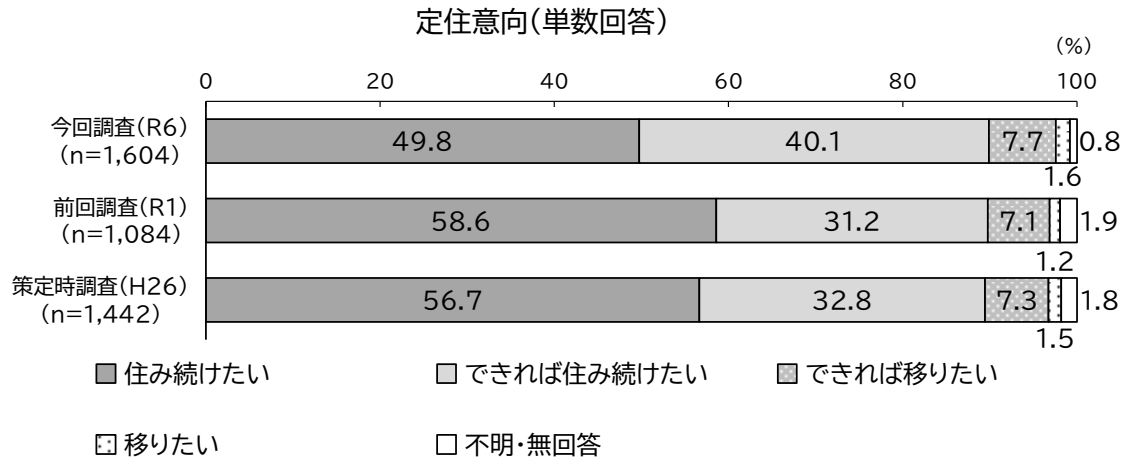


2. 長岡京市の住み心地

(1) 定住意向

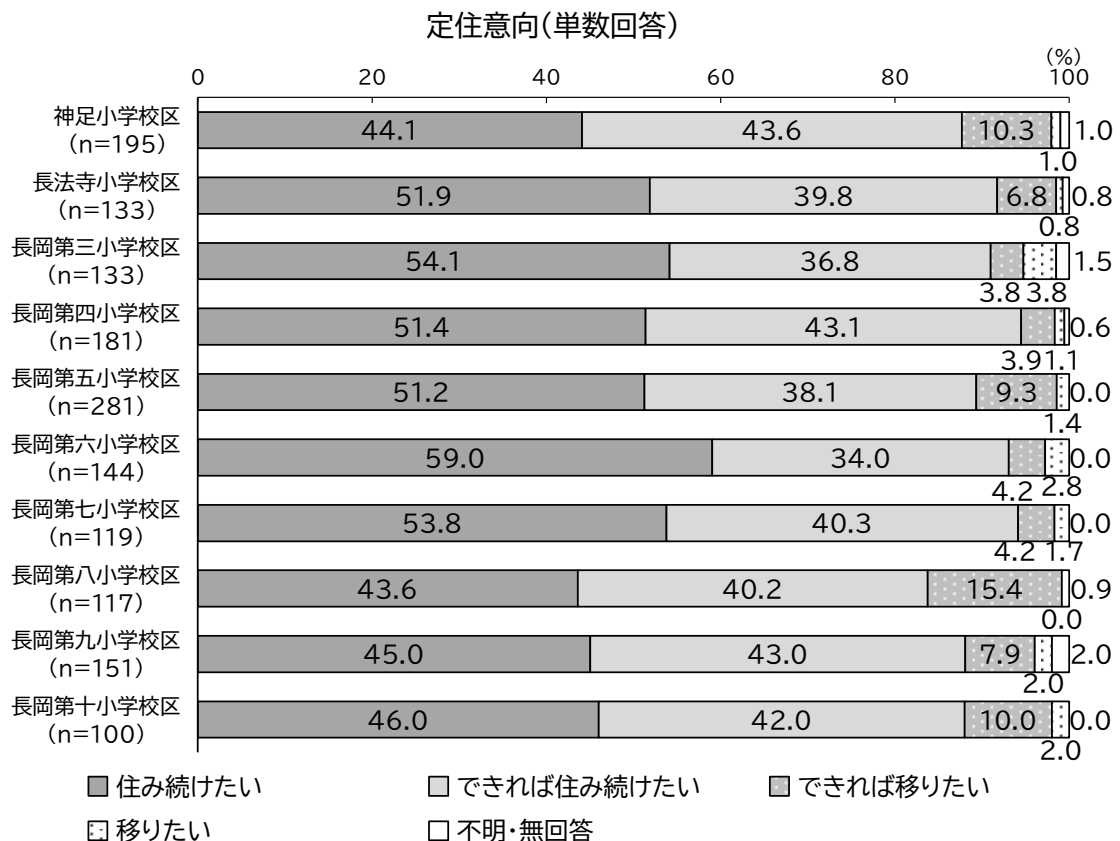
「住み続けたい」が最も多く 49.8%、次いで「できれば住み続けたい」が 40.1%、「できれば移りたい」が 7.7%などとなっています。

前回調査（R1）と比較すると、「住み続けたい」が少なくなっています。



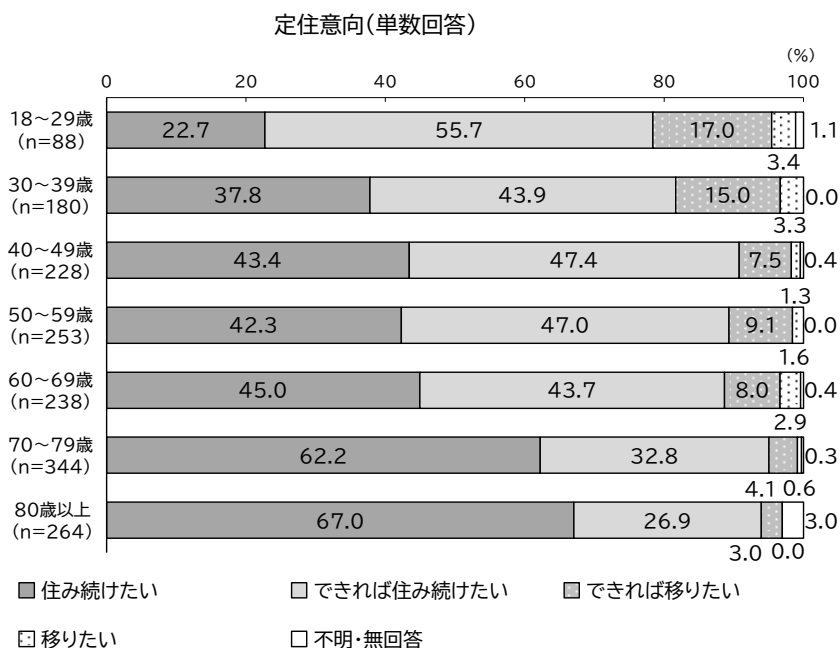
【小学校区別】

小学校区別にみると、「長岡第六小学校区」では「住み続けたい」が、「長岡第八小学校区」では「できれば移りたい」が、「長岡第三小学校区」では「移りたい」が他の小学校区と比べて多くなっています。



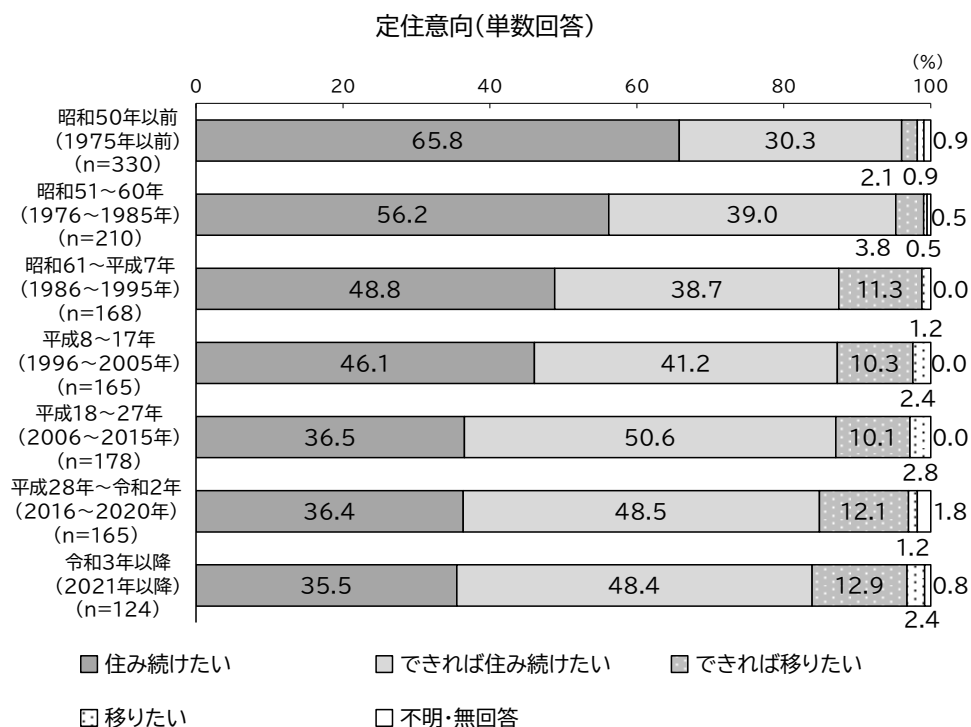
【年代別】

年代別にみると、「70～79歳」「80歳以上」では「住み続けたい」が、「18～29歳」「40～49歳」「50～59歳」では「できれば住み続けたい」が、「18～29歳」「30～39歳」では「できれば移りたい」が、「30～39歳」では「移りたい」が他の年代と比べて多くなっています。



【転入時期別】

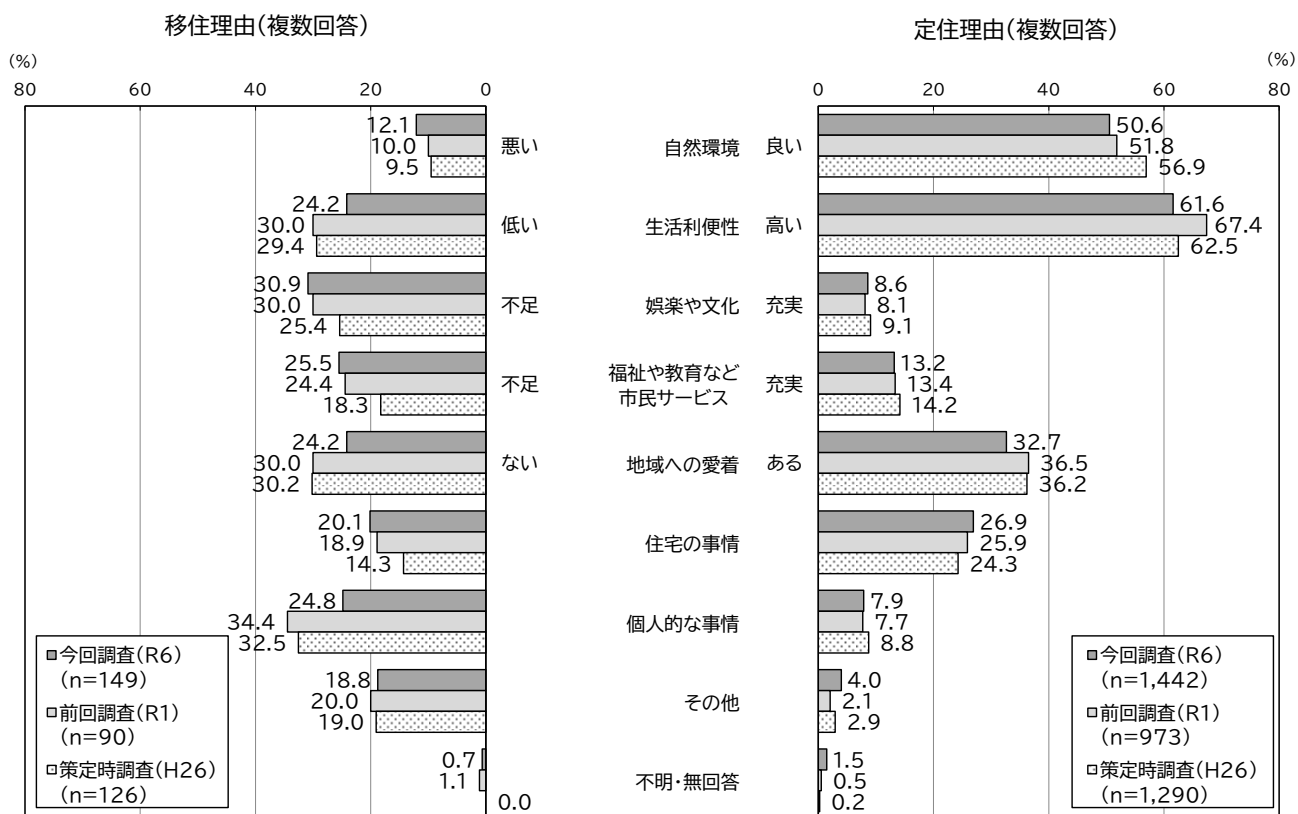
転入時期別にみると、「昭和50年以前(1975年以前)」「昭和51～60年(1976～1985年)」では「住み続けたい」が、「平成18～27年(2006～2015年)」「平成28年～令和2年(2016～2020年)」では「できれば住み続けたい」が、「平成28年～令和2年(2016～2020年)」「令和3年以降(2021年以降)」では「できれば移りたい」が他の転入時期と比べて多くなっています。



(2) 定住・移住理由

住み続けたい理由について、「通勤・通学や買物など生活する上で便利がよいから（生活利便性）」が最も多く 61.6%、次いで「緑などまちの自然環境がよいから（自然環境）」が 50.6%、「地域に愛着があるから」が 32.7%などとなっています。これらの項目は前回調査と同様に上位となっています。

移りたい理由について、「娯楽や文化など生活の楽しみが不足しているから」が最も多く 30.9%、次いで「福祉や教育など市民サービスが不足しているから」が 25.5%、「個人的な事情で」が 24.8%などとなっています。前回調査で上位となっていた「生活利便性が低い」「地域への愛着がない」は少なくなっています。

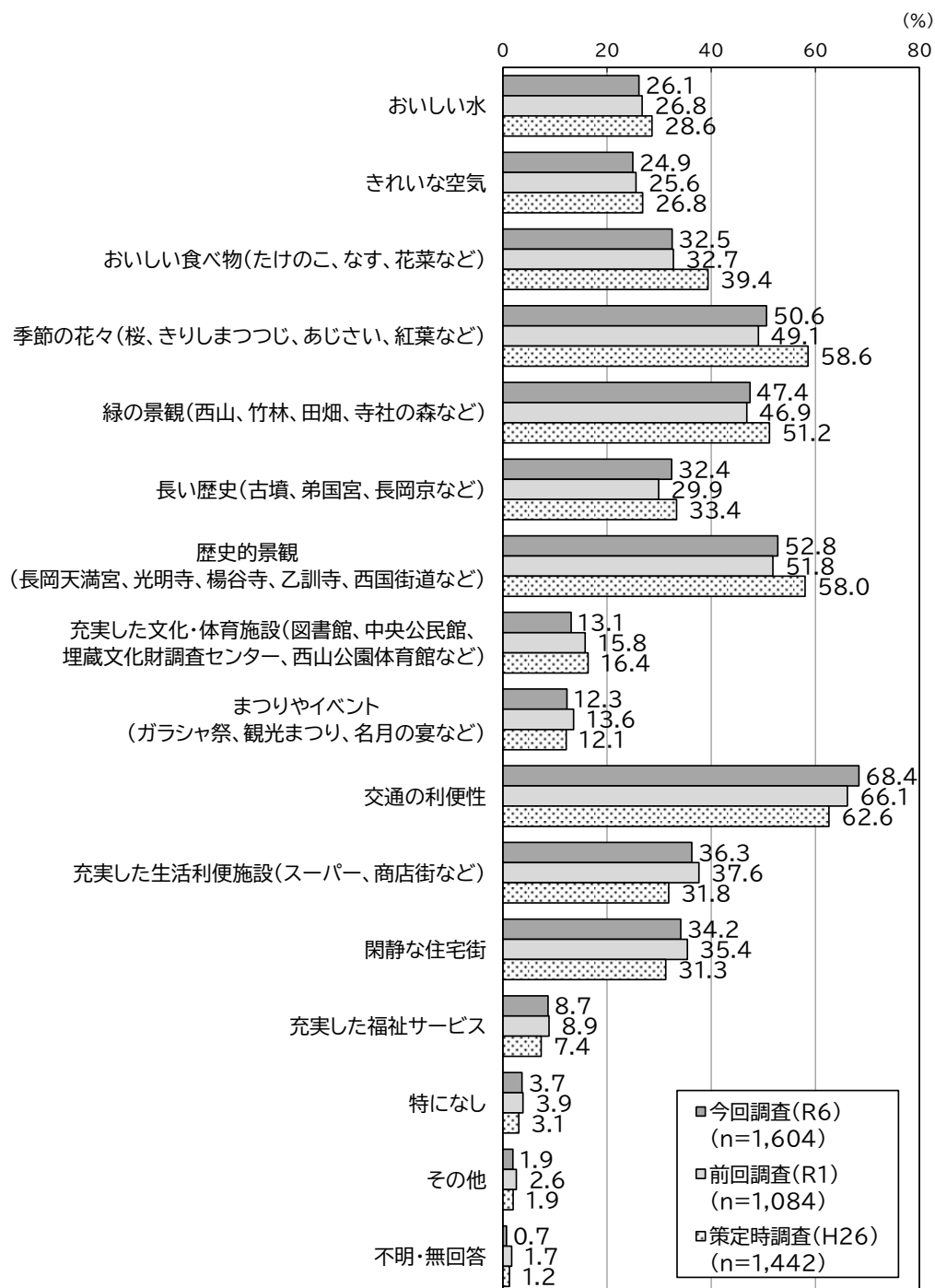


(3) 長岡京市で自慢できるもの・誇りに思うもの

「交通の利便性」が最も多く 68.4%、次いで「歴史的景観（長岡天満宮、光明寺、楊谷寺、乙訓寺、西国街道など）」が 52.8%、「季節の花々（桜、きりしまつつじ、あじさい、紅葉など）」が 50.6%などとなっています。

前回調査と比較して、「充実した文化・体育施設（図書館、中央公民館、埋蔵文化財調査センター、西山公園体育館など）」が少なくなっています。

長岡京市で自慢できるもの、誇りに思うもの(複数回答)



【小学校区】

小学校区別にみると、「長岡第五小学校区」では「緑の景観」が、「長岡第十小学校区」では「歴史的景観」が、それ以外の小学校区では「交通の利便性」が第1位となっています。

(%)

	神足 小学校区	長法寺 小学校区	長岡第三 小学校区	長岡第四 小学校区	長岡第五 小学校区	長岡第六 小学校区
第1位	交通の 利便性 82.6	交通の 利便性 63.2	交通の 利便性 63.2	交通の 利便性 81.2	緑の景観 64.1	交通の 利便性 86.8
第2位	歴史的 景観 54.4	緑の景観 62.4	緑の景観 55.6	緑の景観／ 歴史的景観 50.8	交通の 利便性 55.2	歴史的景観 56.3
第3位	充実した 生活利便施設 47.2	季節の花々 61.7	歴史的景観 49.6		季節の花々 54.8	季節の花々 54.9

	長岡第七 小学校区	長岡第八 小学校区	長岡第九 小学校区	長岡第十 小学校区	全体
第1位	交通の 利便性 64.7	交通の 利便性 68.4	交通の 利便性 72.8	歴史的景観 54.0	交通の 利便性 68.4
第2位	歴史的景観 53.8	歴史的景観 44.4	季節の花々／歴 史的景観 49.0	緑の景観／季節 の花々 52.0	歴史的 景観 52.8
第3位	季節の花々 51.3	季節の花々 41.9			季節の花々 50.6

【年代別】

年代別にみると、すべての年代で「交通の利便性」が第1位となっています。

(%)

	18～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70～79 歳	80 歳以上	全体
第1位	交通の 利便性 69.3	交通の 利便性 66.1	交通の 利便性 74.1	交通の 利便性 76.3	交通の 利便性 70.6	交通の 利便性 66.9	交通の 利便性 57.2	交通の 利便性 68.4
第2位	歴史的 景観 39.8	閑静な 住宅街 41.1	緑の景観 40.8	歴史的 景観 51.4	歴史的 景観 58.8	歴史的 景観 63.7	歴史的 景観 61.4	歴史的 景観 52.8
第3位	季節の花々 ／長い歴史 35.2	歴史的 景観 36.1	歴史的 景観 40.4	季節の花々 48.6	季節の花々 53.8	季節の花々 63.4	季節の花々 60.6	季節の花々 50.6

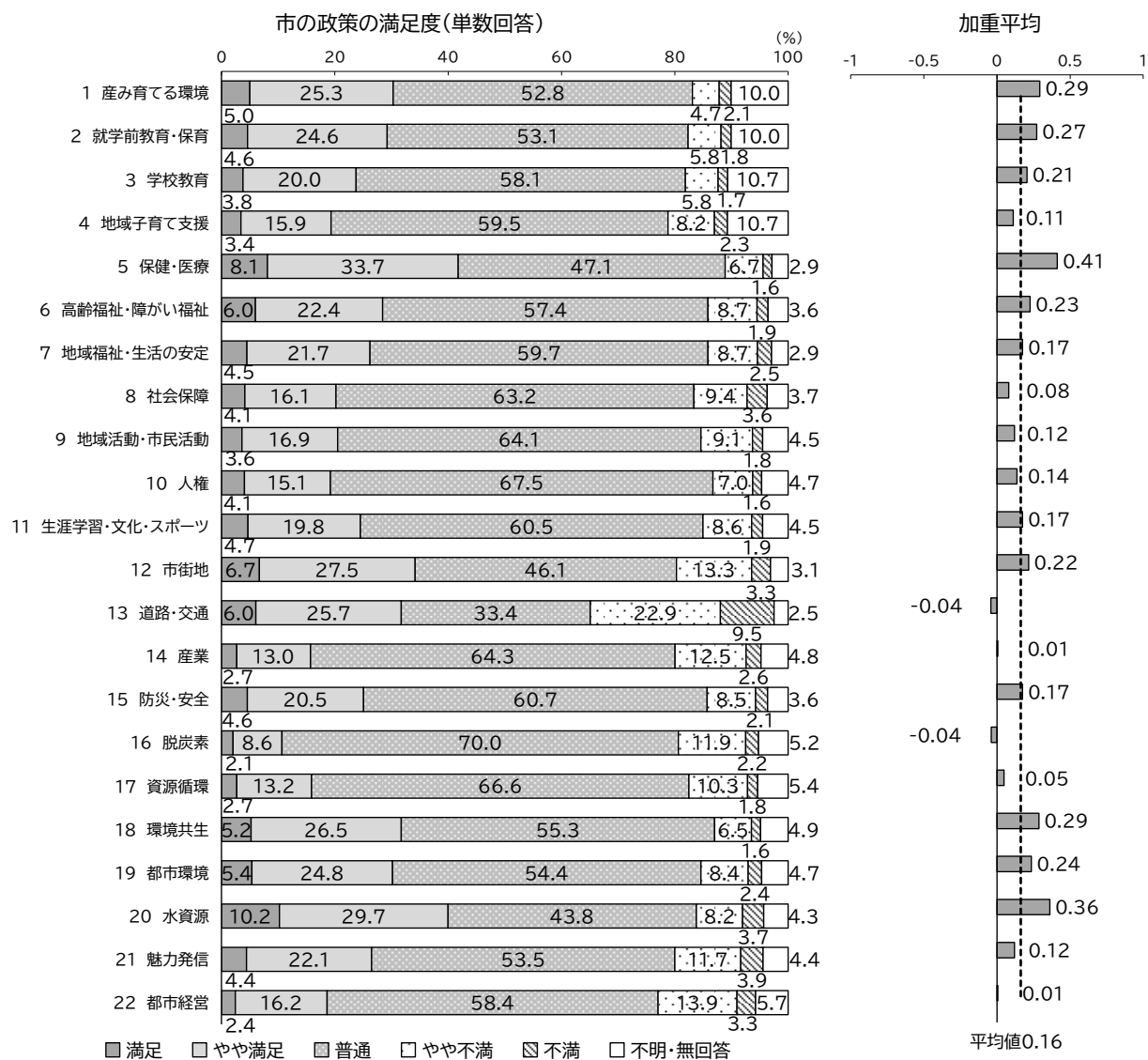
3. 市の政策の満足度と重要度

(1) 市の政策の満足度

① 政策分野全体

『満足』（「満足」「やや満足」の合計）について、「5 保健・医療」が最も多く 41.8%、次いで「20 水資源」が 39.9%、「12 市街地」が 33.7%などとなっています。

『不満』（「やや不満」「不満」の合計）について、「13 道路・交通」が最も多く 32.4%、次いで「22 都市経営」が 17.2%、「12 市街地」が 16.6%などとなっています。

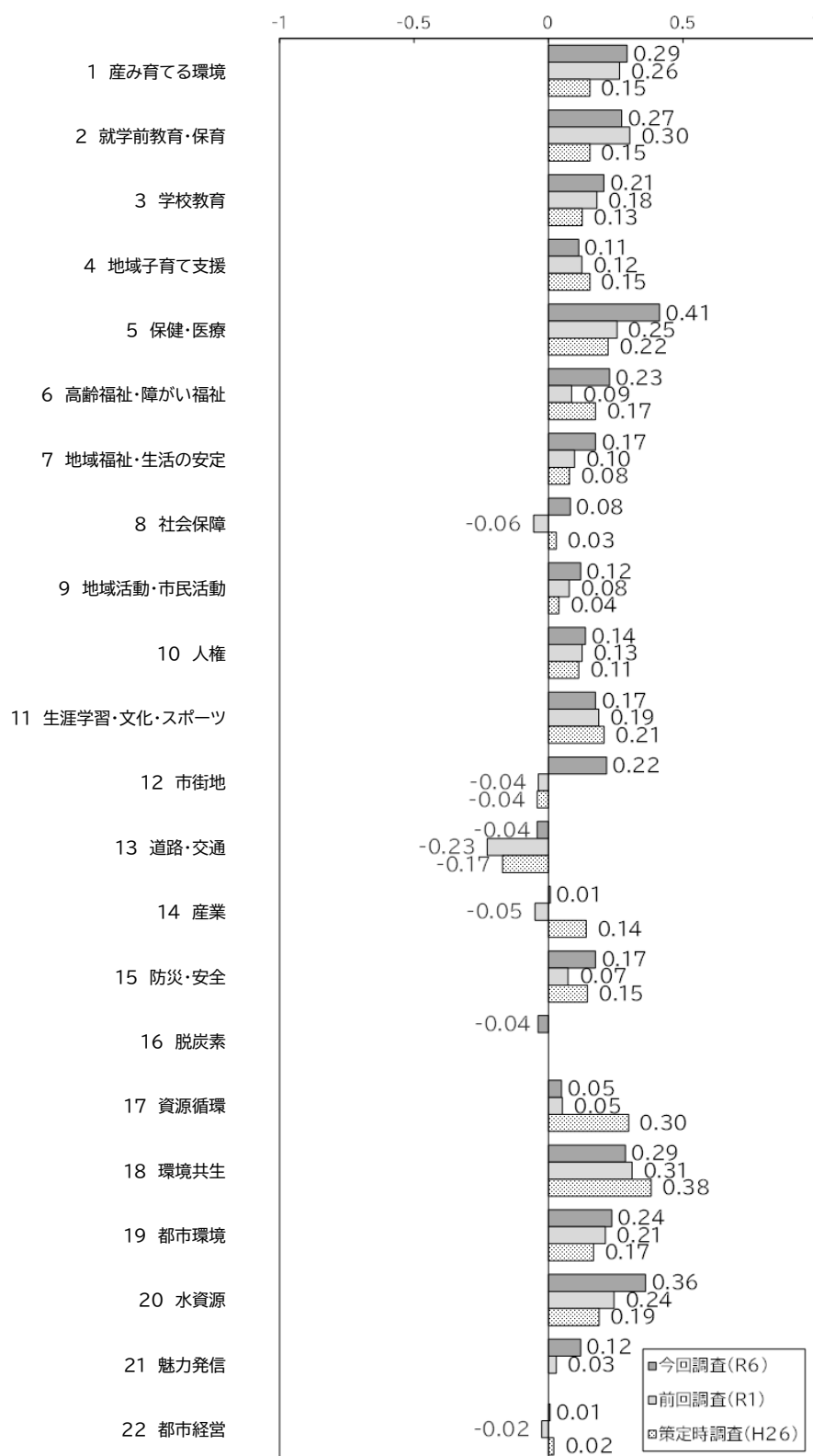


※ 加重平均は「満足」+2、「やや満足」+1、「普通」0、「やや不満」-1、「不満」-2の加重評点を与えて平均点を算出しています。

【経年比較】

前回調査と比較すると、「5 保健・医療」「6 高齢福祉・障がい福祉」「8 社会保障」「12 市街地」が上昇し、「16 脱炭素」「2 就学前教育・保育」「18 環境共生」が下がっています。

満足度の加重平均(経年比較)



② 政策分野別の満足度

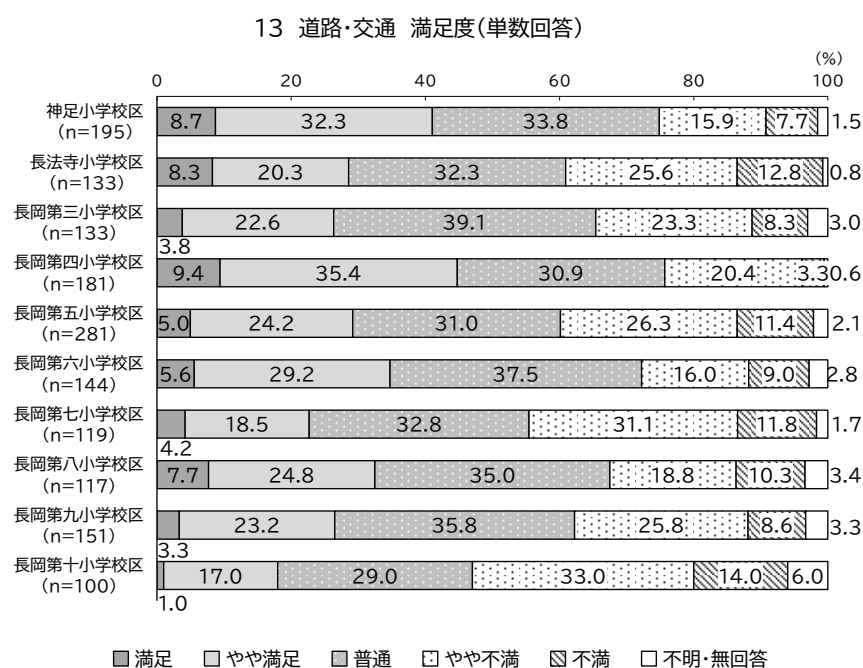
満足度の加重平均値の下位 5 位の政策分野、前回調査から加重平均が下がっている政策分野について小学校区別、年齢別に差があったものを整理しています。

	小学校区別	年齢別
13 道路・交通	◎	◎
14 産業	差なし	◎
16 脱炭素	差なし	◎
17 資源循環	差なし	◎
22 都市経営	差なし	◎

■ 13 道路・交通

【小学校区別】

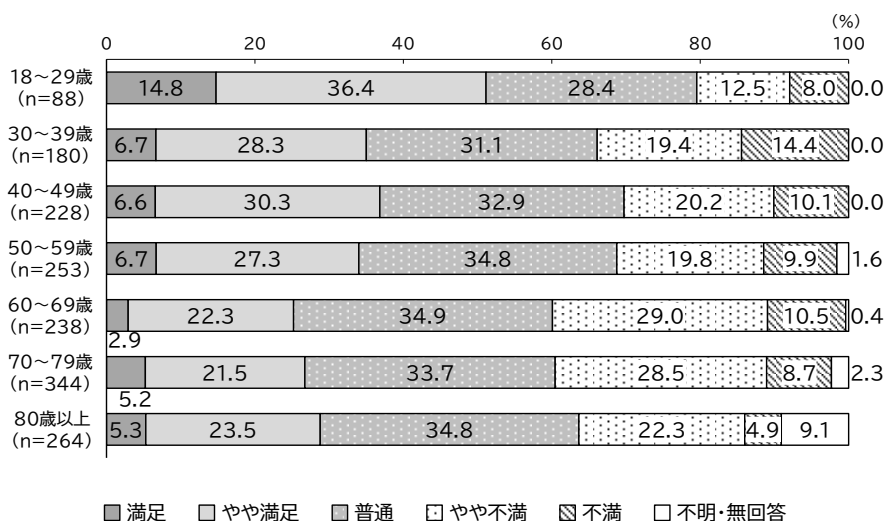
小学校区別にみると、「長岡第四小学校区」では「満足」が、「神足小学校区」「長岡第四小学校区」では「やや満足」が、「長岡第七小学校区」「長岡第十小学校区」では「やや不満」が他の小学校区と比べて多くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「18～29歳」では「満足」「やや満足」が、「60～69歳」「70～79歳」では「やや不満」「不満」が、「30～39歳」では「不満」が他の年代と比べて多くなっています。

13 道路・交通 満足度(単数回答)

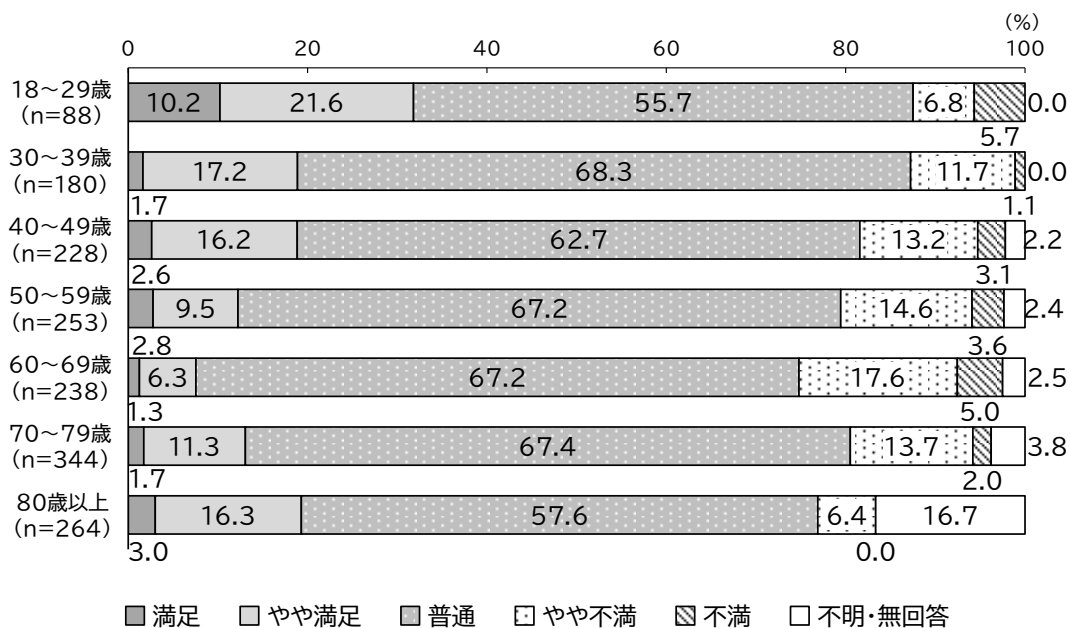


■ 14 産業

【年代別】

年代別にみると、「18～29歳」では「満足」「やや満足」が、「60～69歳」では「やや不満」「不満」が他の年代と比べて多くなっています。

14 産業 満足度(単数回答)

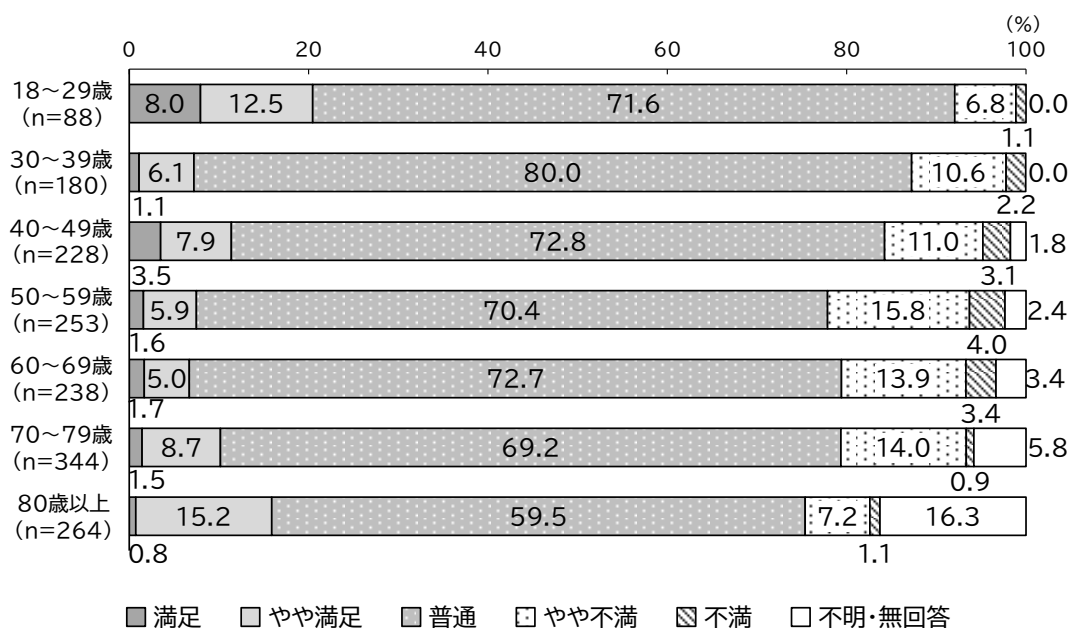


■ 16 脱炭素

【年代別】

年代別にみると、「18～29 歳」では「満足」が他の年代と比べて多くなっています。

16 脱炭素 満足度(単数回答)

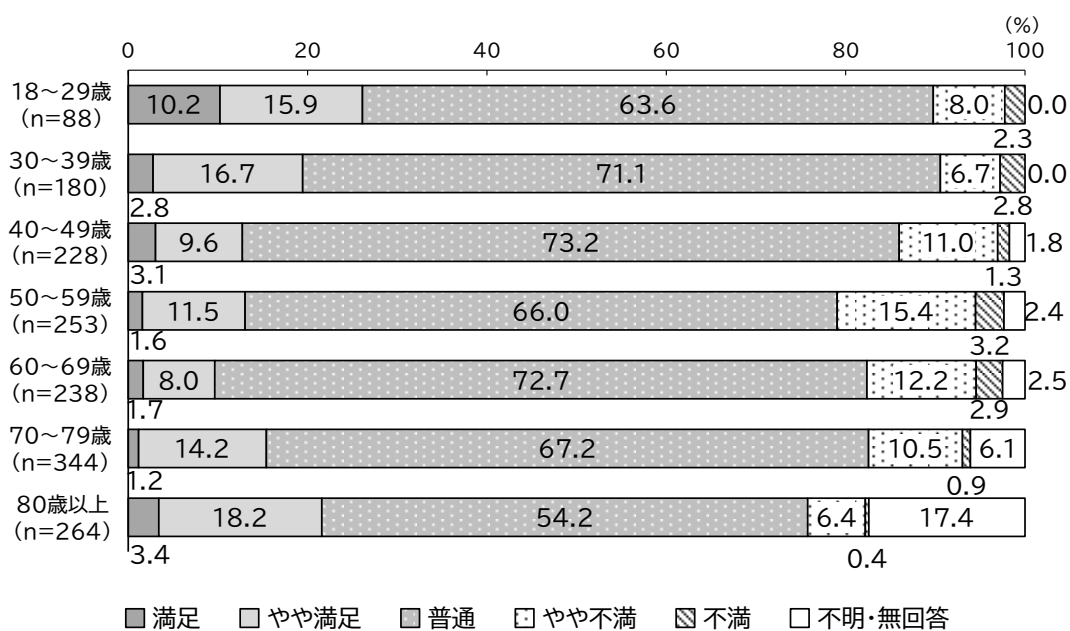


■ 17 資源循環

【年代別】

年代別にみると、「18～29 歳」では「満足」が、「80 歳以上」では「やや満足」が、「50～59 歳」では「やや不満」が他の年代と比べて多くなっています。

17 資源循環 満足度(単数回答)

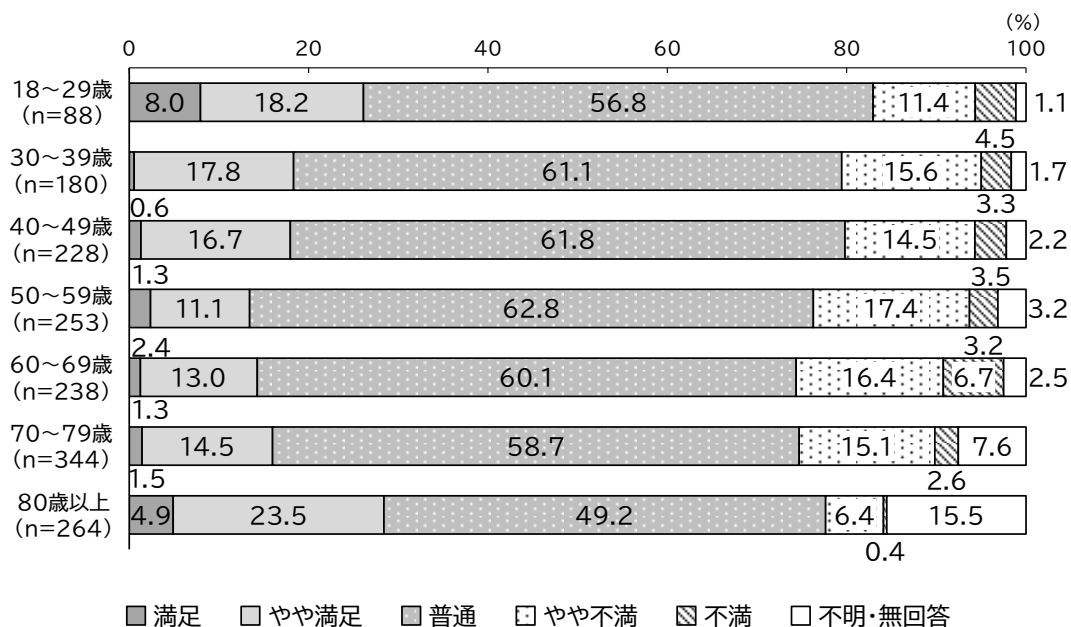


■ 22 都市経営

【年代別】

年代別にみると、「18～29 歳」「80 歳以上」では「満足」が、「60～69 歳」では「不満」が他の年代と比べて多くなっています。

22 都市経営 満足度(単数回答)

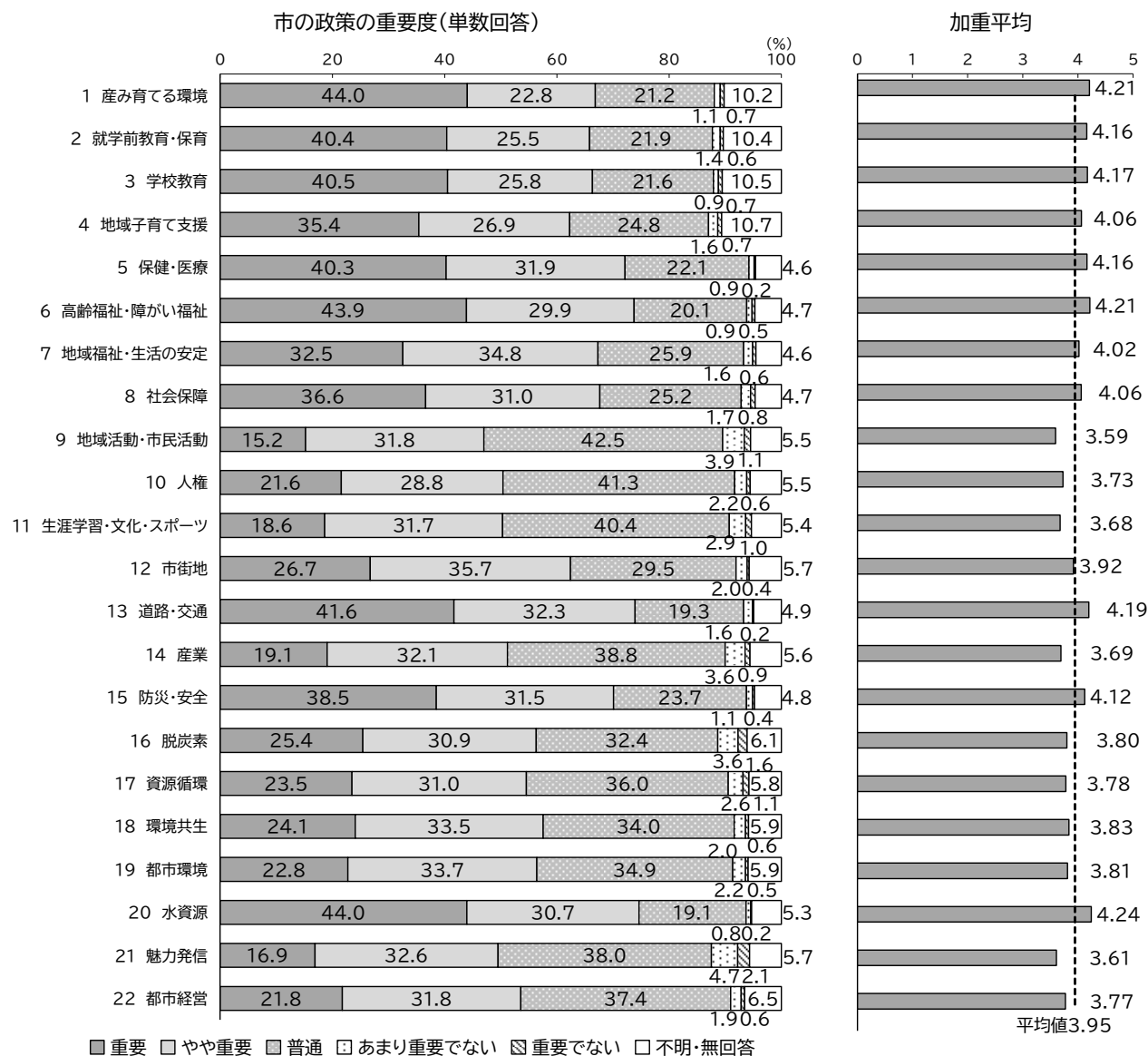


(2) 市の政策の重要度

① 政策分野全体

『重要』（「重要」「やや重要」の合計）について、「20 水資源」が最も多く74.7%、次いで「13 道路・交通」が73.9%、「6 高齢福祉・障がい福祉」が73.8%などとなっています。

『重要でない』（「あまり重要でない」「重要でない」の合計）について、「21 魅力発信」が最も多く6.8%、次いで「16 脱炭素」が5.2%、「9 地域活動・市民活動」が5.0%などとなっています。

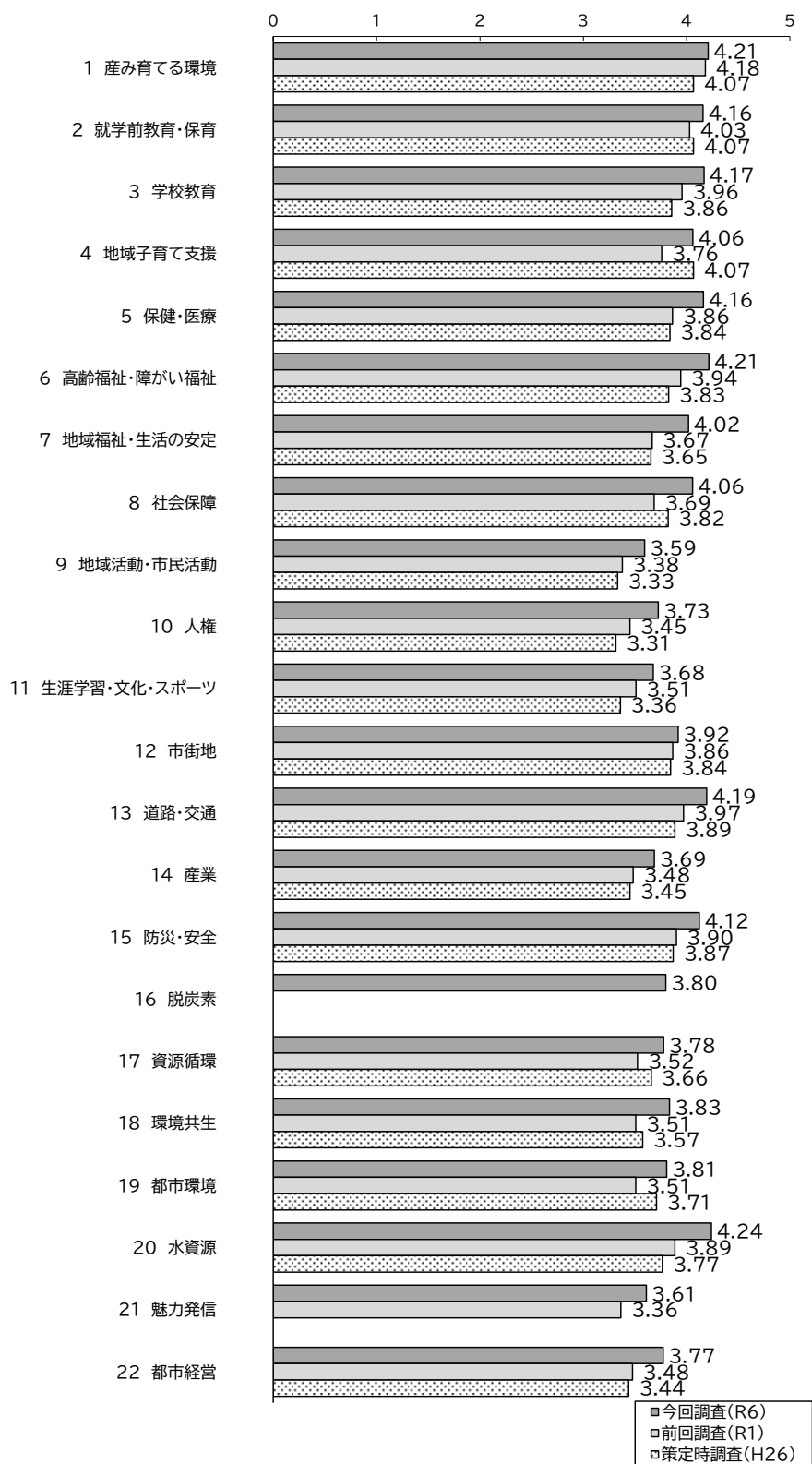


※ 加重平均は「重要」+5、「やや重要」+4、「普通」+3、「あまり重要でない」+2、「重要でない」+1の加重評点を与えて平均点を算出しています。

【経年比較】

前回調査と比較すると、「7 地域福祉・生活の安定」「8 社会保障」「20 水資源」が上昇しています。

重要度の加重平均(経年比較)



② 政策分野別の重要度

重要度の加重平均値の上位 5 位の政策分野、前回調査から加重平均が上昇している政策分野について小学校区別、年齢別に差があったものを整理しています。

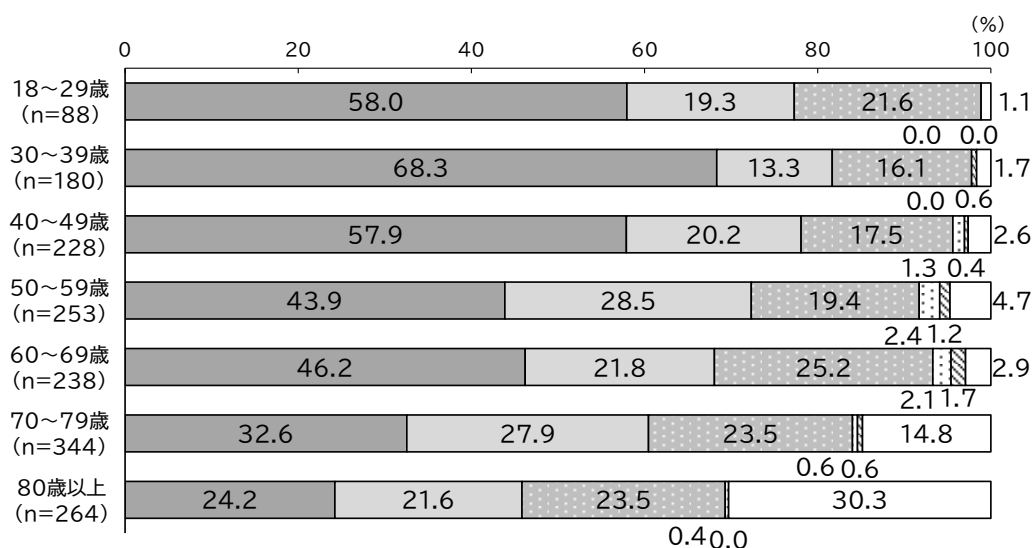
	小学校区別	年齢別
1 産み育てる環境	差なし	◎
3 学校教育	差なし	◎
6 高齢福祉・障がい福祉	差なし	◎
13 道路・交通	差なし	◎
20 水資源	差なし	差なし

■ 1 産み育てる環境

【年代別】

年代別にみると、「30～39 歳」「40～49 歳」では「重要」が、「70～79 歳」では「やや重要」が、「50～59 歳」では「あまり重要でない」が他の年代と比べて多くなっています。

1 産み育てる環境 重要度(単数回答)



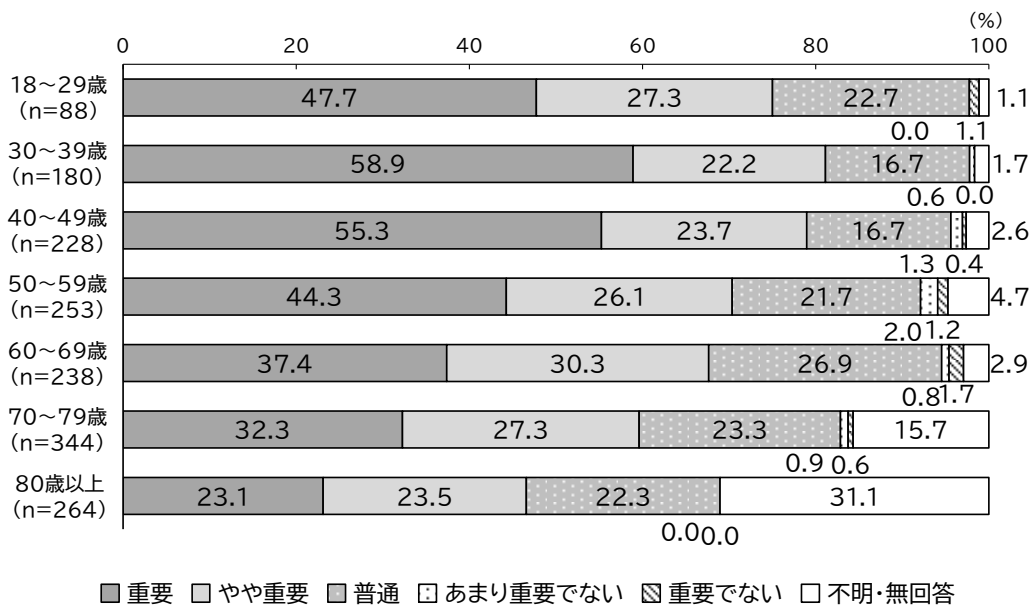
■ 重要 □ やや重要 ■ 普通 □ あまり重要でない ■ 重要でない □ 不明・無回答

■ 3 学校教育

【年代別】

年代別にみると、「30～39 歳」「40～49 歳」では「重要」が、「80 歳以上」では「普通」が他の年代と比べて多くなっています。

3 学校教育 重要度(単数回答)

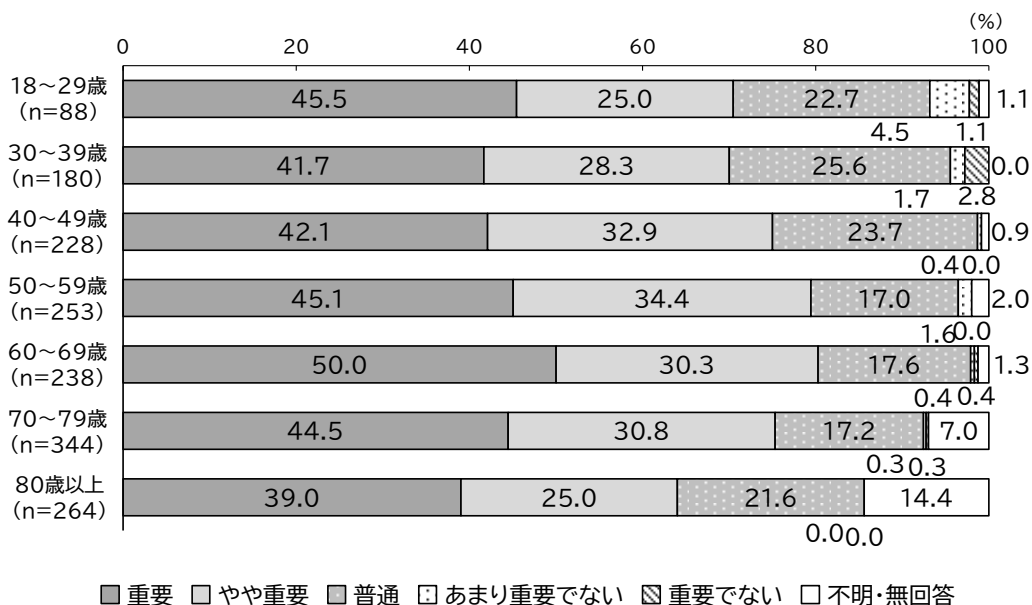


■ 6 高齢福祉・障がい福祉

【年代別】

年代別にみると、「18～29 歳」では「あまり重要でない」が、「30～39 歳」では「重要でない」が他の年代と比べて多くなっています。

6 高齢福祉・障がい福祉 重要度(単数回答)

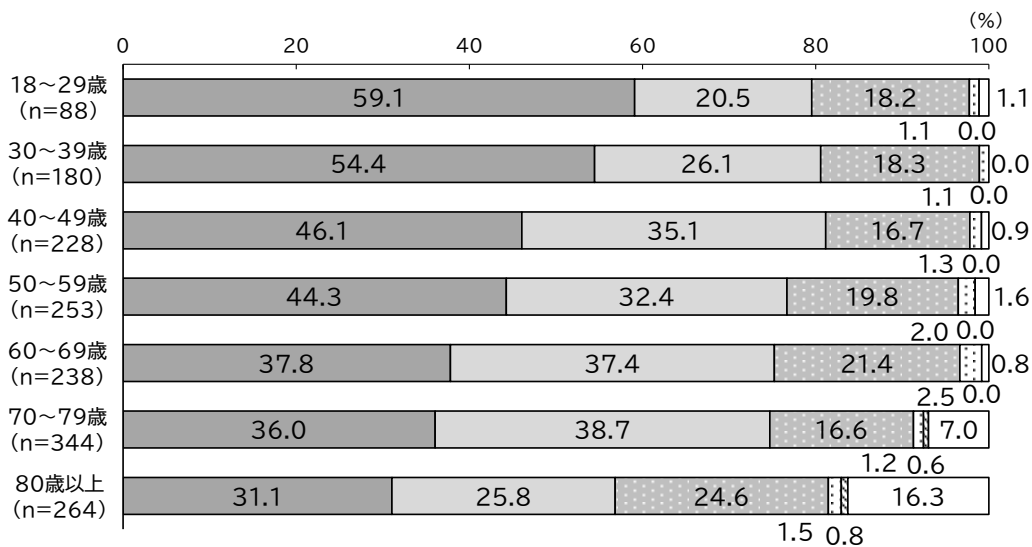


■ 13 道路・交通

【年代別】

年代別にみると、「18～29 歳」「30～39 歳」では「重要」が、「70～79 歳」では「やや重要」が、「80 歳以上」では「普通」「重要でない」が他の年代と比べて多くなっています。

13 道路・交通 重要度(単数回答)



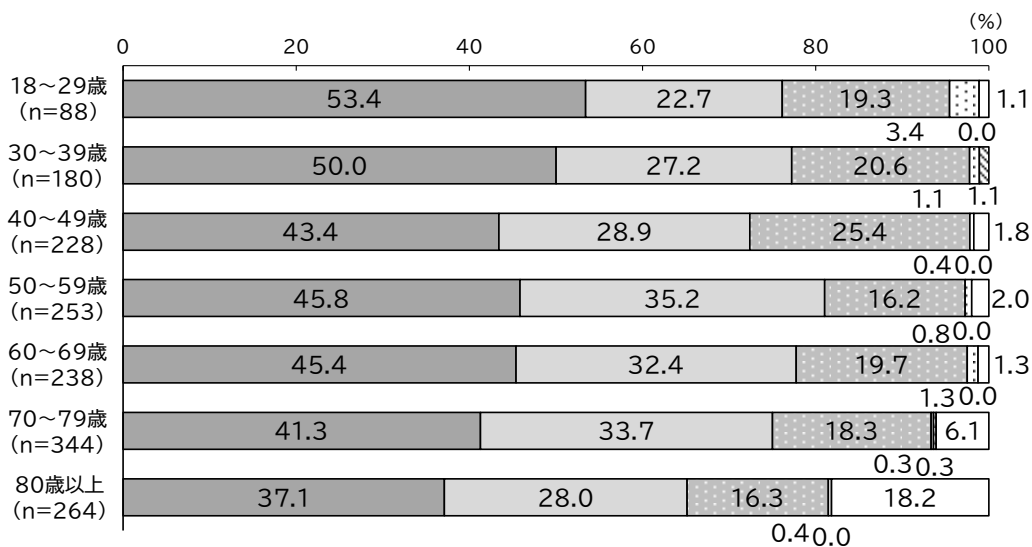
■ 重要 □ やや重要 ■ 普通 □ あまり重要でない ■ 重要でない □ 不明・無回答

■ 20 水資源

【年代別】

年代別による差はありません。

20 水資源 重要度(単数回答)



■ 重要 □ やや重要 ■ 普通 □ あまり重要でない ■ 重要でない □ 不明・無回答

(3) 満足度と重要度の関係

① 全分野の満足度と重要度の関係

それぞれの設問において、結果の加重平均を求め、2軸4象限にプロットすることで、各政策分野について、満足度別にみた重要度を評価しました。

なお加重平均は、満足度については、「満足」+2、「やや満足」+1、「普通」0、「やや不満」-1、「不満」-2、また、重要度については「重要」+5、「やや重要」+4、「普通」+3、「あまり重要でない」+2、「重要でない」+1の加重評点を与えて平均点を算出しています。

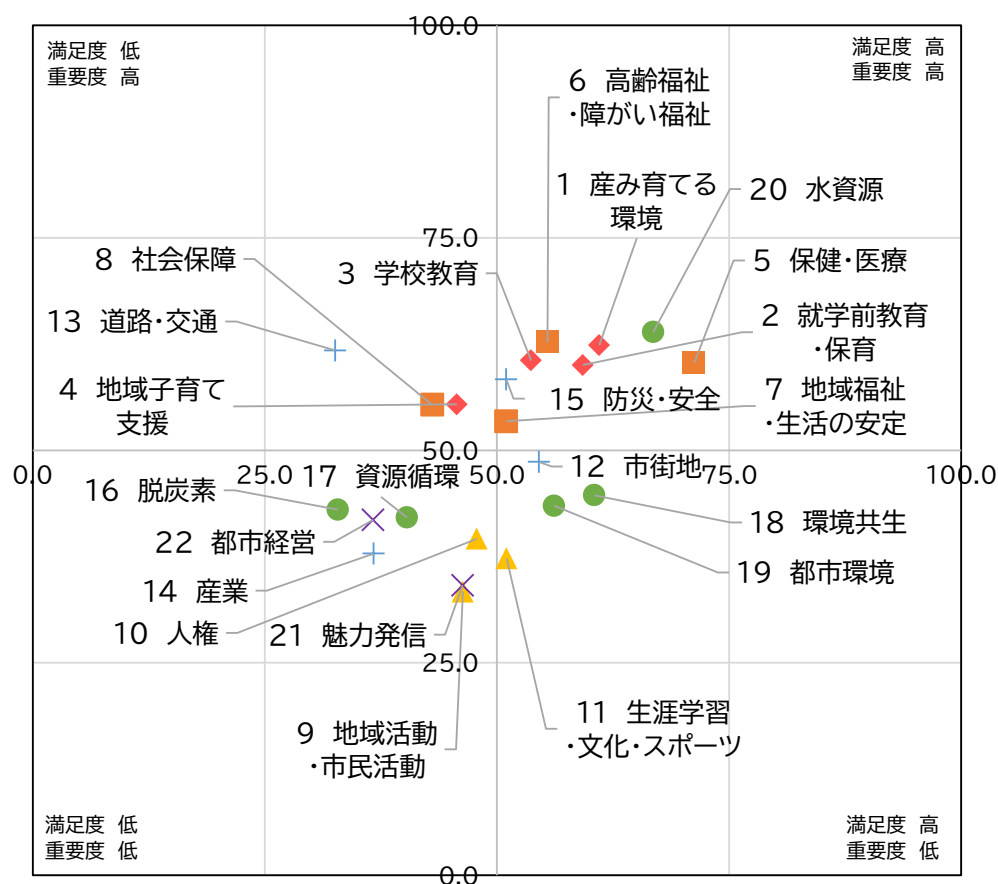
<分野：カッコ内は図中の記号>

【柱1『こども』政策分野1～4】(◆) 1. 産み育てる環境 2. 就学前教育・保育 3. 学校教育 4. 地域子育て支援	【柱4『まち』政策分野12～15】(+) 12. 市街地 13. 道路・交通 14. 産業 15. 防災・安全
【柱2『くらし』政策分野5～8】(■) 5. 保健・医療 6. 高齢福祉・障がい福祉 7. 地域福祉・生活の安定 8. 社会保障	【柱5『みどり』政策分野16～20】(●) 16. 脱炭素 17. 資源循環 18. 環境共生 19. 都市環境 20. 水資源
【柱3『かがやき』政策分野9～11】(▲) 9. 地域活動・市民活動 10. 人権 11. 生涯学習・文化・スポーツ	【柱6『けいえい』政策分野21～22】(×) 21. 魅力発信 22. 都市経営

「1 産み育てる環境」「2 就学前教育・保育」「3 学校教育」「5 保健・医療」「6 高齢福祉・障がい福祉」
「7 地域福祉・生活の安定」「15 防災・安全」「20 水資源」では満足度、重要度ともに高くなっています。

「4 地域子育て支援」「8 社会保障」「13 道路・交通」では満足度が低く、重要度が高くなっています。

各政策の満足度と重要度



※ 重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

■ 政策分野の重要度と満足度の前回調査比較（参考）

政策分野の重要度と満足度について前回調査、前々回調査と比較しました。なお、前々回調査の政策分野は「長岡京市第3次総合計画」の枠組みによるため、今回調査と異なっています。以下に今回調査と前回調査の政策分野の対応を示します。

今回調査（第4次総合計画体系）		前々回調査（3次総合計画体系）
柱	政策分野	
こども	政策分野 1 産み育てる環境	政策 2 児童の健やかな育成
	政策分野 2 就学前教育・保育	
	政策分野 3 学校教育	政策 13 学校教育の推進
	政策分野 4 地域子育て支援	政策 2 児童の健やかな育成
くらし	政策分野 5 保健・医療	政策 6 保健・医療の充実
	政策分野 6 高齢福祉・障がい福祉	政策 3 高齢者福祉の推進 政策 4 障がい者（児）福祉の推進
	政策分野 7 地域福祉・生活の安定	政策 1 地域福祉の推進 政策 5 生活の安定と自立支援 政策 21 快適に暮らせる住宅の供給
	政策分野 8 社会保障	政策 7 保険事業の充実
かがやき	政策分野 9 地域活動・市民活動	政策 25 市民と行政のパートナーシップの確立
	政策分野 10 人権	政策 14 男女共同参画社会の実現 政策 15 人権尊重と人権教育の推進 政策 17 平和・友好交流の推進
	政策分野 11 生涯学習・文化・スポーツ	政策 12 生涯学習の推進 政策 16 文化の振興・文化財保護
まち	政策分野 12 市街地	政策 18 市街地の計画的整備
	政策分野 13 道路・交通	政策 19 総合的な交通体系の整備
	政策分野 14 産業	政策 22 農林業の振興 政策 23 商工業の振興 政策 24 観光の振興
	政策分野 15 防災・安全	政策 20 防災・防犯体制の整備
みどり	政策分野 16 脱炭素	-
	政策分野 17 環境共生	政策 9 緑豊かな環境づくり
	政策分野 18 水資源	政策 10 水環境の整備 政策 11 安定した水の供給
	政策分野 19 循環型社会	政策 8 環境保全型社会の形成
	政策分野 20 都市景観	政策 9 緑豊かな環境づくり 政策 18 市街地の計画的整備
けい えい	政策分野 21 魅力発信	-
	政策分野 22 都市経営	政策 26 市民に開かれた合理的な行財政運営 政策 27 近隣自治体・大学等との連携協力

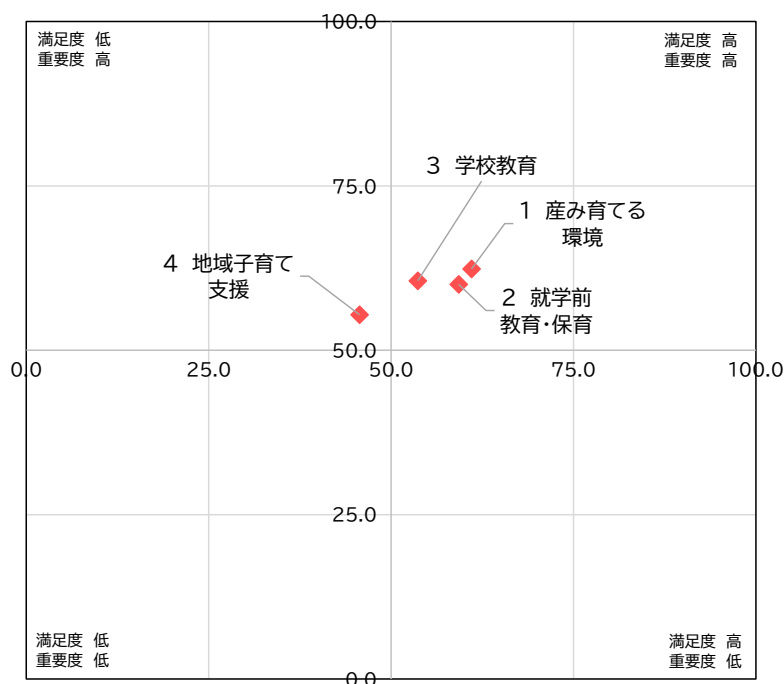
② 柱ごとの満足度と重要度

【柱1『こども』（政策分野1～4）】

「1 産み育てる環境」「2 就学前教育・保育」「3 学校教育」では満足度、重要度ともに高くなっています。一方、「4 地域子育て支援」では満足度が低く重要度が高くなっています。

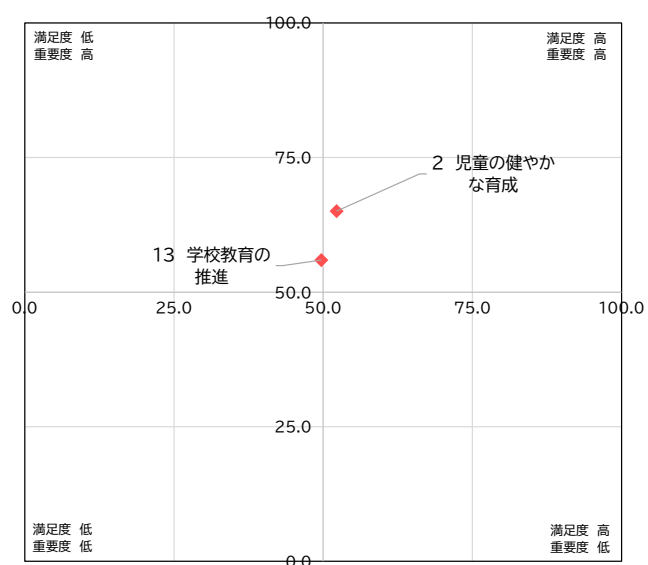
【今回調査（R6）】

柱1『こども』（政策分野1～4）



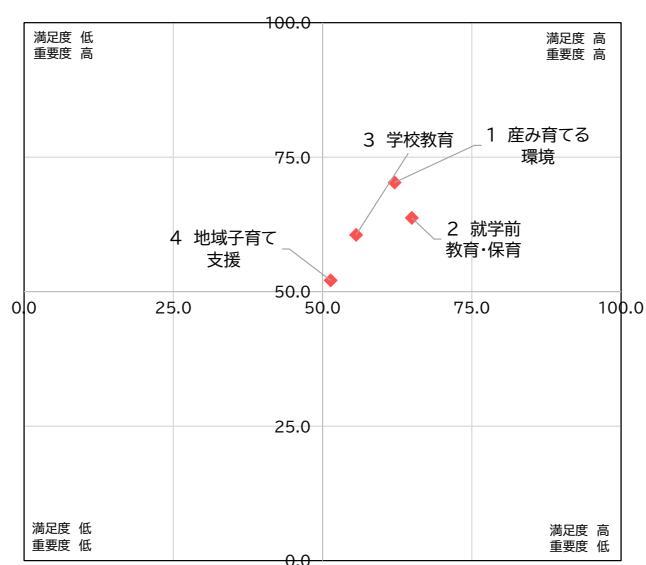
【前々回調査（H26）】

柱1『こども』



【前回調査（R1）】

柱1『こども』（政策分野1～4）



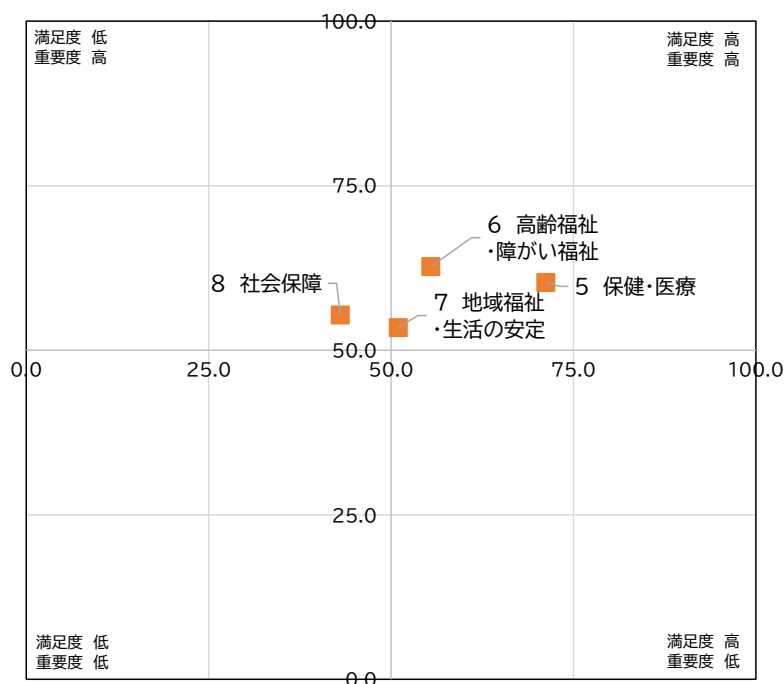
※ 経年比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱2『暮らし』（政策分野5～8）】

「5 保健・医療」「6 高齢福祉・障がい福祉」「7 地域福祉・生活の安定」では満足度、重要度ともに高くなっています。一方、「8 社会保障」では満足度が低く重要度が高くなっています。

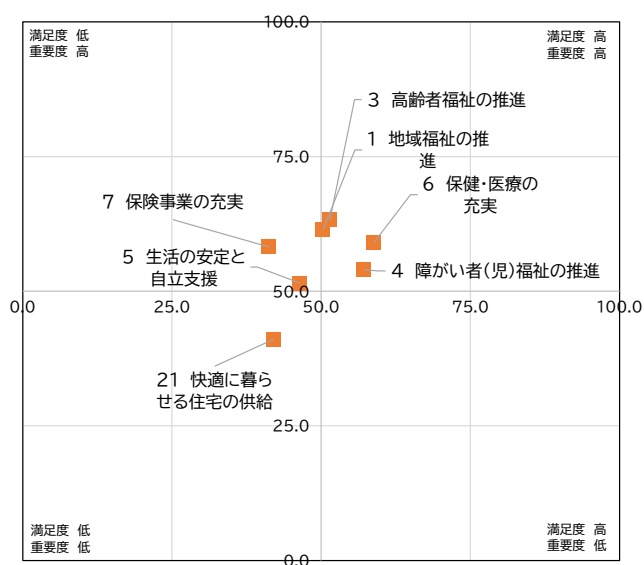
【今回調査（R6）】

柱2『暮らし』（政策分野5～8）



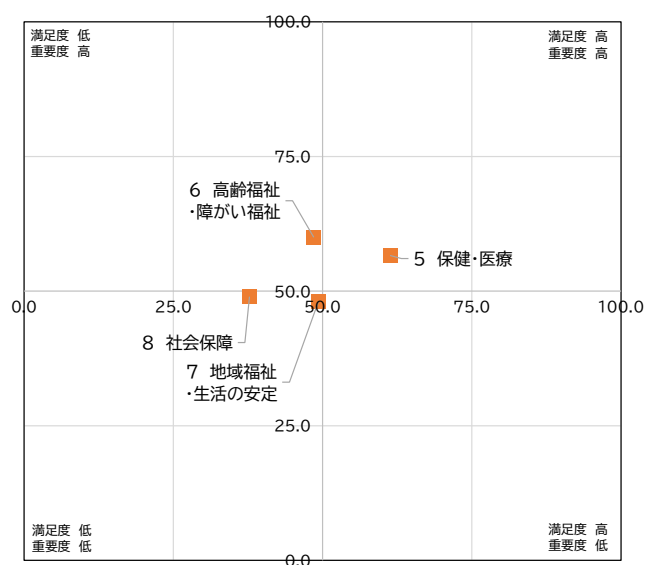
【前々回調査（H26）】

柱2『暮らし』



【前回調査（R1）】

柱2『暮らし』（政策分野5～8）



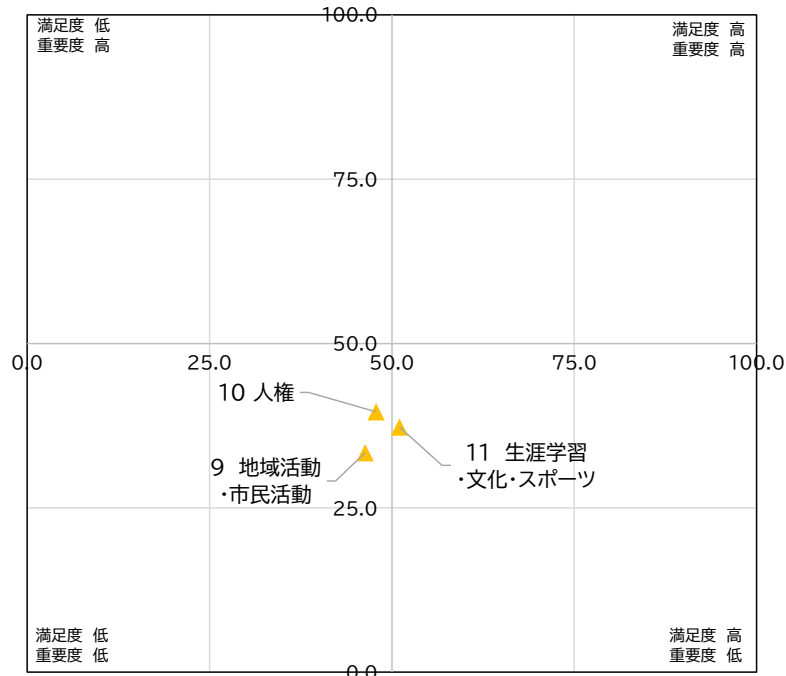
※ 経年比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱3『かがやき』(政策分野9～11)】

すべての政策分野で重要度が低くなっています。

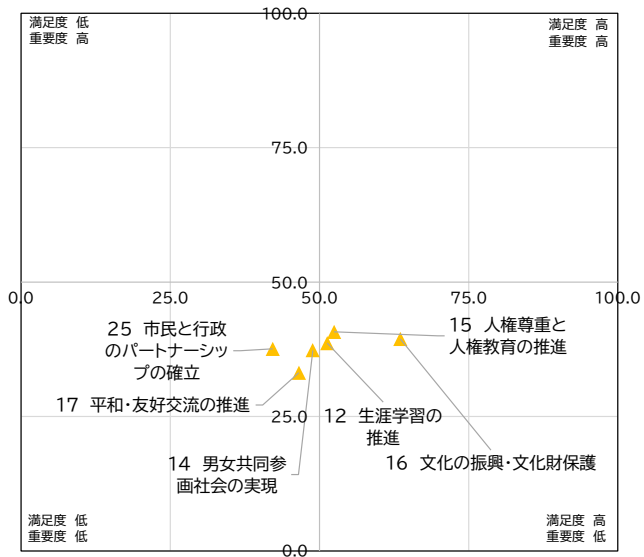
【今回調査 (R6)】

柱3『かがやき』(政策分野9～11)



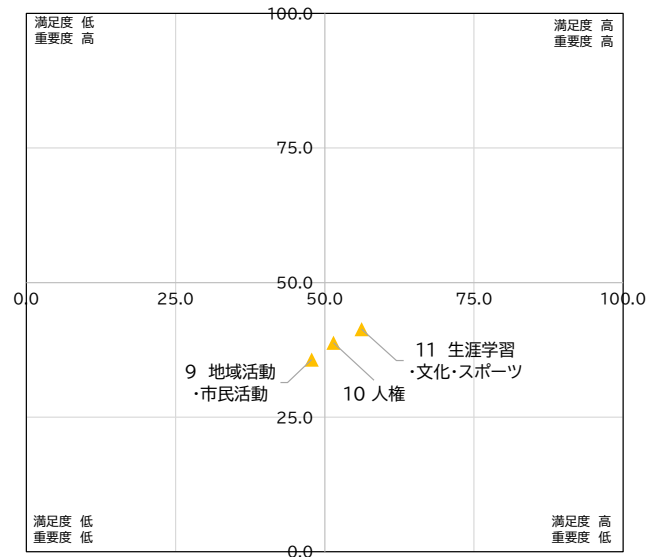
【前々回調査 (H26)】

柱3『かがやき』



【前回調査 (R1)】

柱3『かがやき』(政策分野9～11)



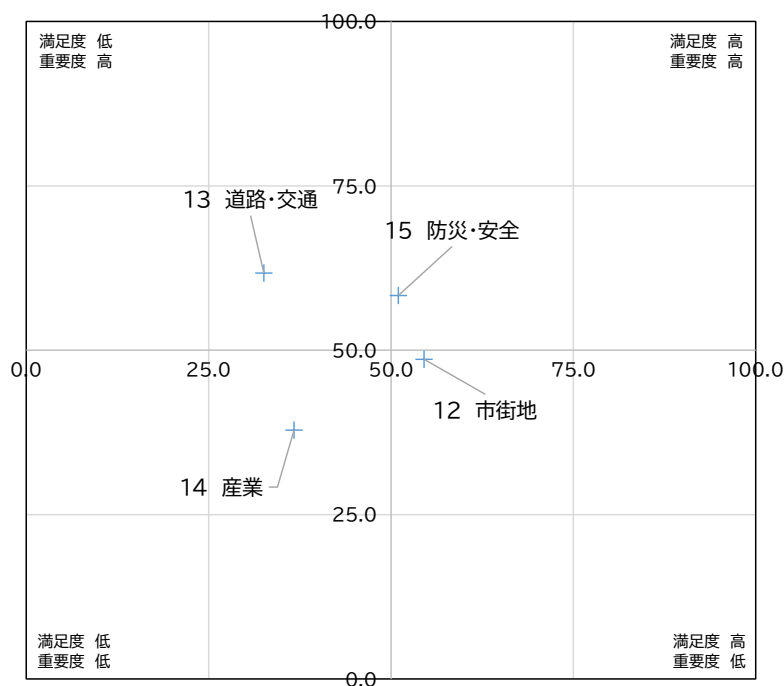
※ 経年比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱4『まち』(政策分野 12～15)】

「15 防災・安全」では満足度、重要度ともに高くなっています。一方、「13 道路・交通」では満足度が低く重要度が高くなっています。

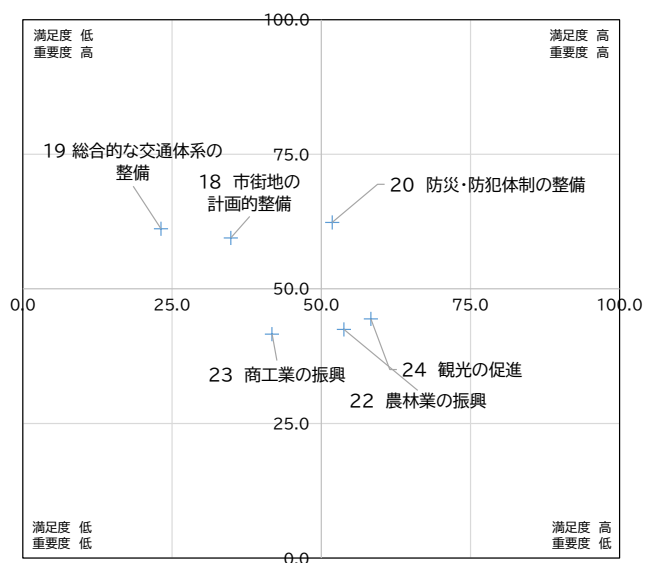
【今回調査 (R6)】

柱4『まち』(政策分野12～15)



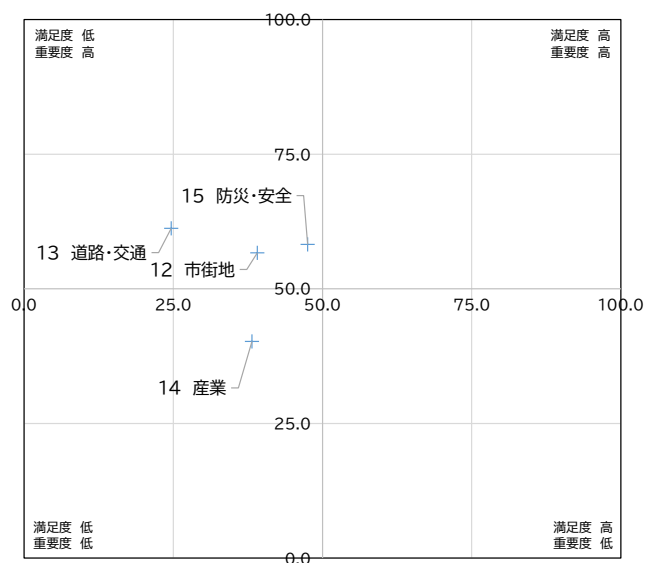
【前々回調査 (H26)】

柱4『まち』



【前回調査 (R1)】

柱4『まち』(政策分野12～15)



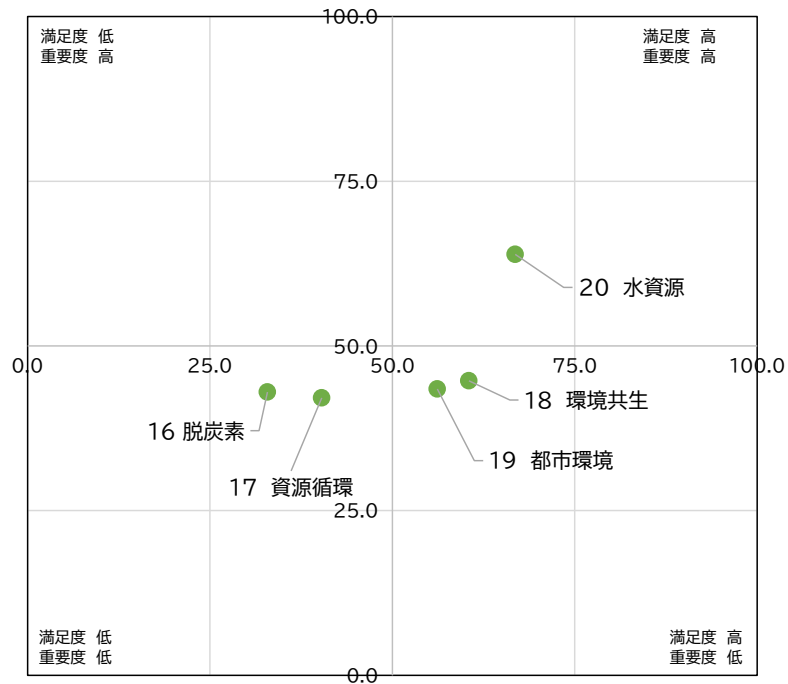
※ 経年比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱5『みどり』（政策分野16～20）】

「20 水資源」では満足度、重要度ともに高くなっています。一方、他の政策分野は重要度が低くなっています。

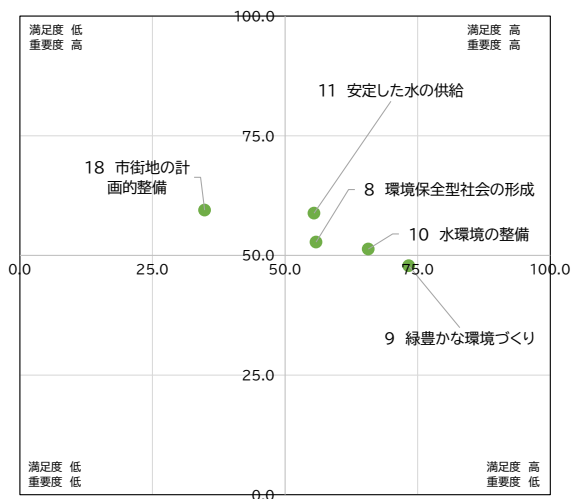
【今回調査（R6）】

柱5『みどり』（政策分野16～20）



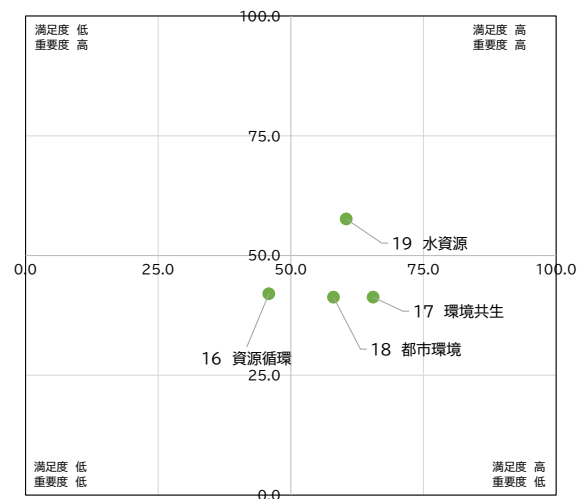
【前々回調査（H26）】

柱5『みどり』



【前回調査（R1）】

柱5『みどり』（政策分野16～19）



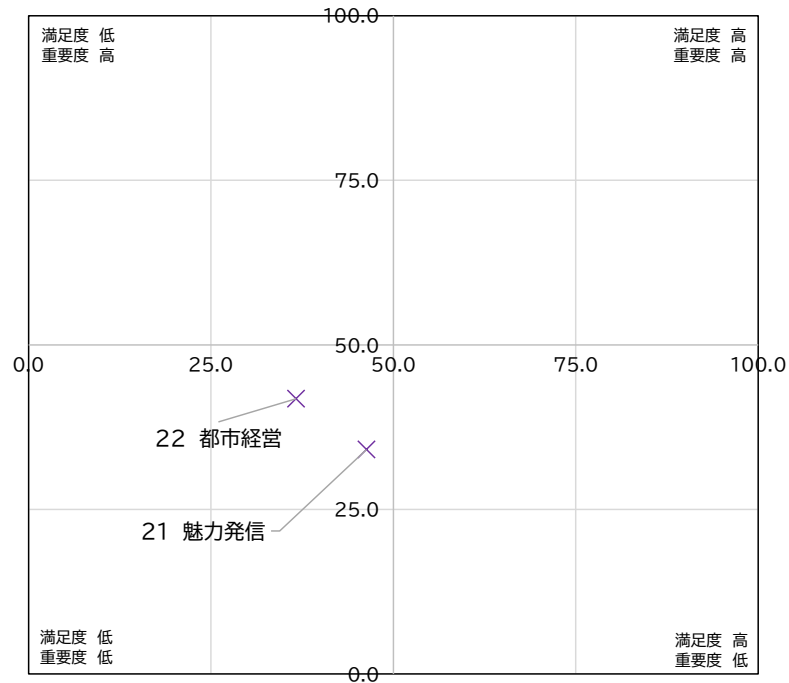
※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。「16 脱炭素」が今回調査からの項目のため、政策分野番号に相違がある。

【柱6 『けいえい』（政策分野 21～22）】

すべての政策分野で重要度が低くなっています。

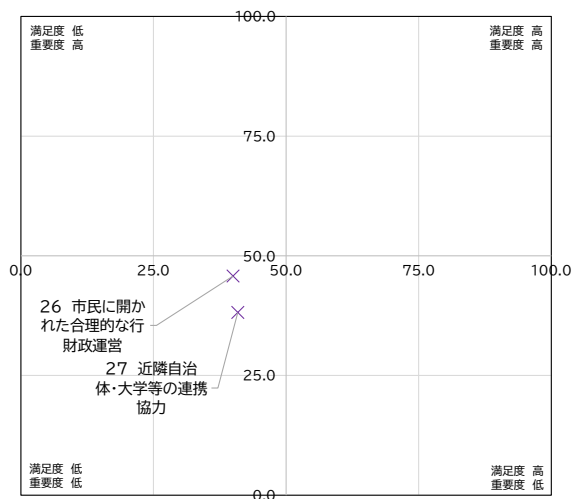
【今回調査（R6）】

柱6 『けいえい』（政策分野21～22）



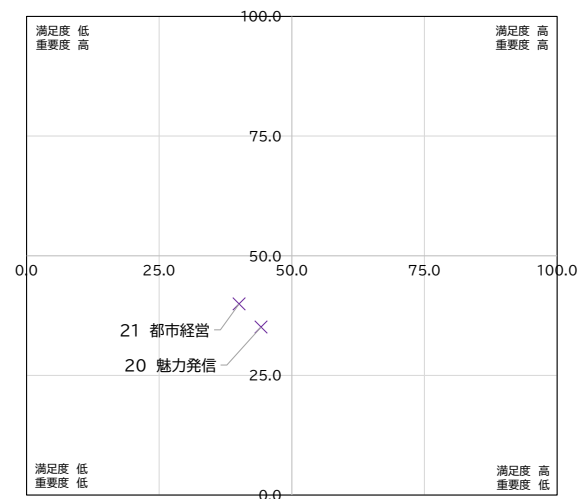
【前々回調査（H26）】

柱6 『けいえい』



【前回調査（R1）】

柱6 『けいえい』（政策分野20～21）



※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。「16 脱炭素」が今回調査からの項目のため、政策分野番号に相違がある。

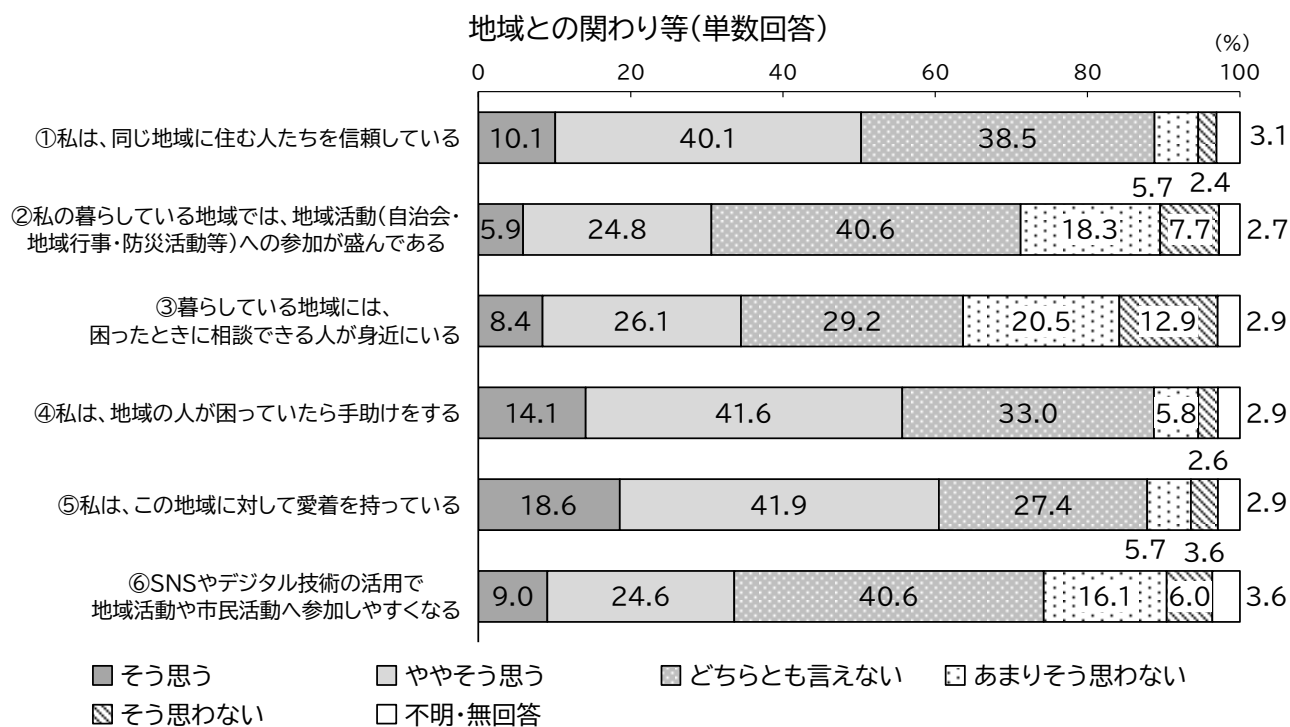
4. 地域との関わりや地域活動・市民活動について

(1) 地域との関わり等について

『そう思う』（「そう思う」「ややそう思う」の合計）について、「⑤私は、この地域に対して愛着を持っている」が最も多く 60.5%、次いで「④私は、地域の人困っていたら手助けをする」が 55.7%、「①私は、同じ地域に住む人たちを信頼している」が 50.2%などとなっています。

『そう思わない』（「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計）について、「③暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」が最も多く 33.4%、次いで「②私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への参加が盛んである」が 26.0%などとなっています。

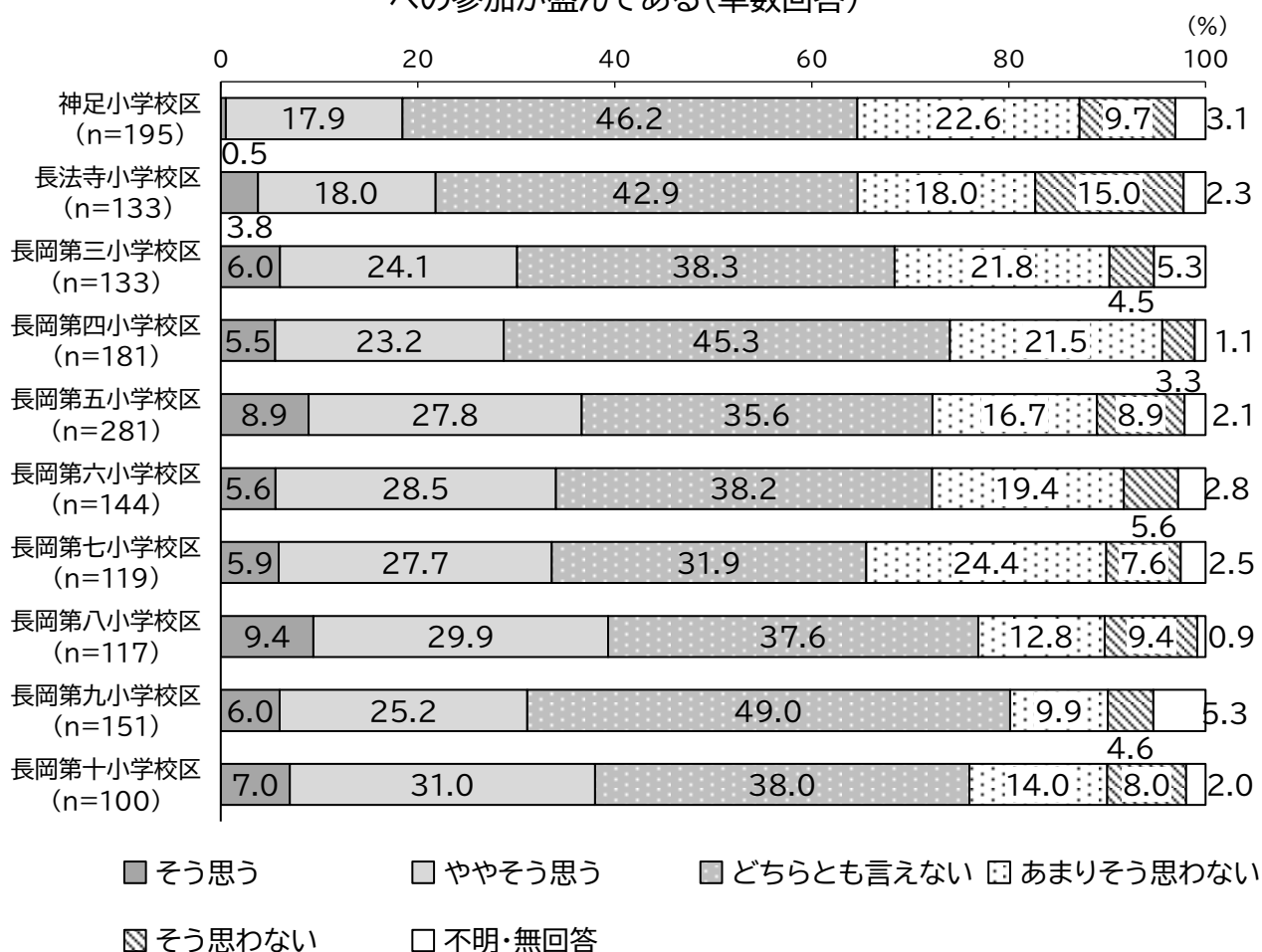
「⑥SNS やデジタル技術の活用で地域活動や市民活動へ参加しやすくなる」については、「どちらとも言えない」が最も多く 40.6%、『そう思う』が 33.6%、『そう思わない』が 22.1%などとなっています。



【小学校区別】

小学校区別にみると、「②私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への参加が盛んである」についてのみ小学校区別の差があり、「長岡第五小学校区」は「そう思う」が多く、「長法寺小学校区」は「そう思わない」が他の小学校区よりも多くなっています。

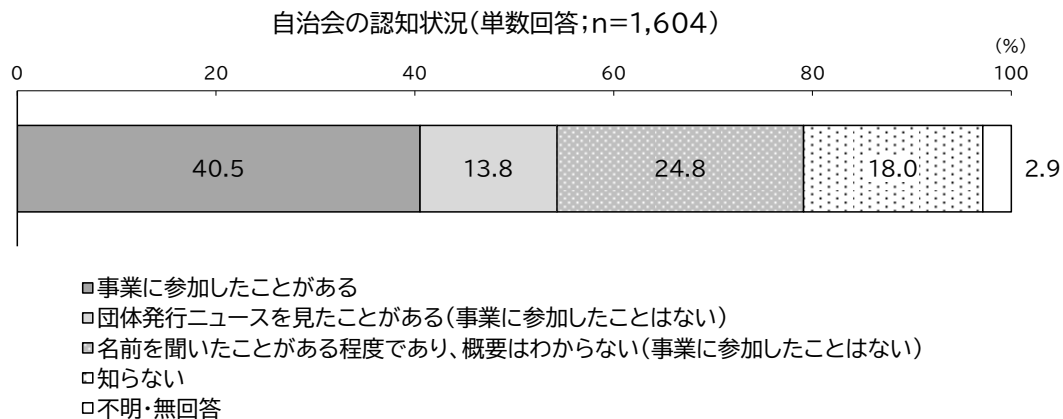
②私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への参加が盛んである（単数回答）



(2) 自治会や地域コミュニティ協議会との関わり

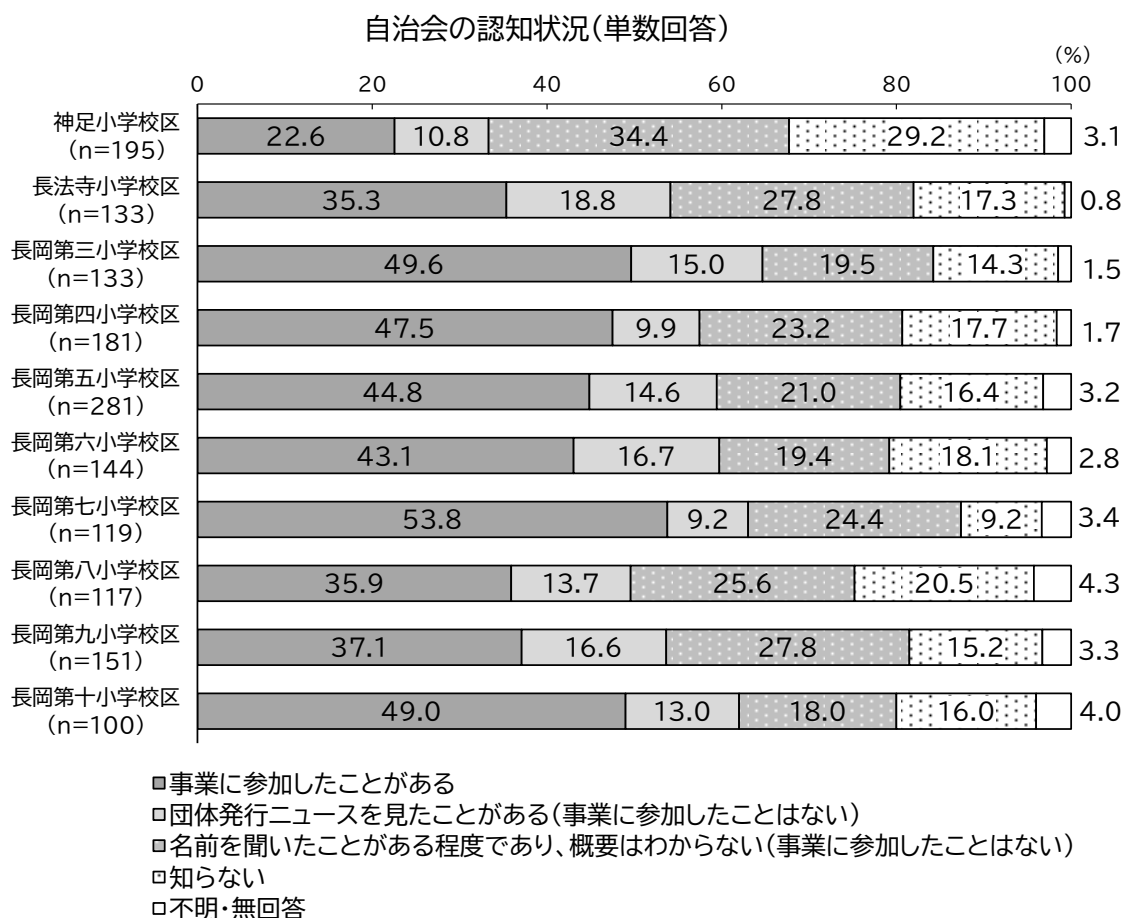
① 自治会との関わり

「事業に参加したことがある」が最も多く 40.5%、次いで「名前を聞いたことがある程度であり、概要はわからない（事業に参加したことはない）」が 24.8%、「知らない」が 18.0%などとなっています。



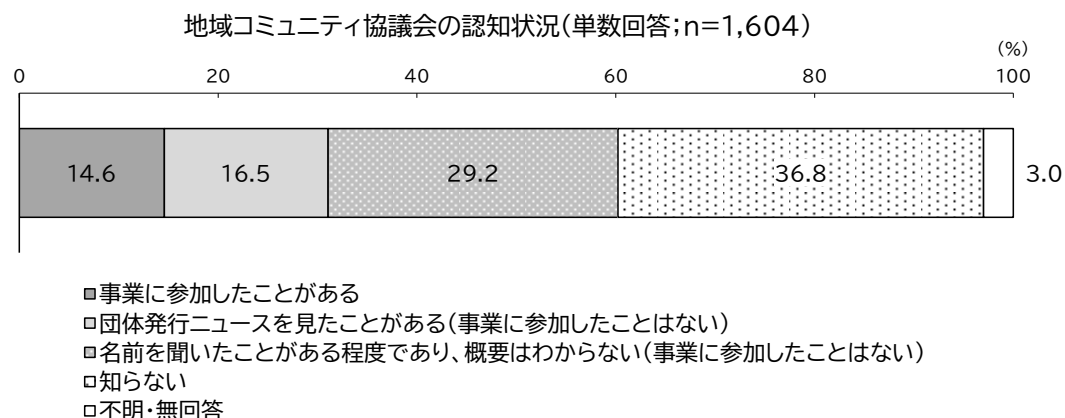
【小学校区別】

小学校区別にみると、「長岡第七小学校区」は「事業に参加したことがある」が他の小学校区よりも多く、「神足小学校区」は他の小学校区よりも少なくなっています。また、「神足小学校区」は「知らない」が他の小学校区よりも多くなっています。



② 地域コミュニティ協議会

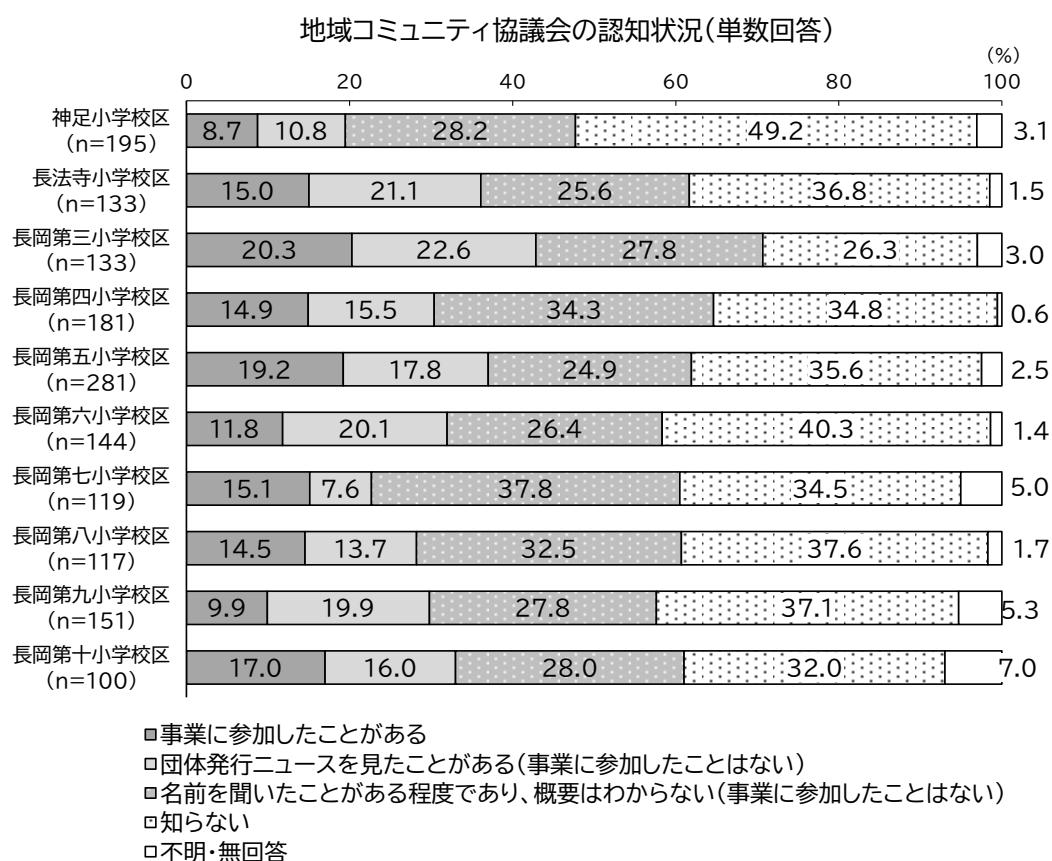
「知らない」が最も多く 36.8%、次いで「名前を聞いたことがある程度であり、概要はわからない（事業に参加したことはない）」が 29.2%、「団体発行ニュースを見たことがある（事業に参加したことはない）」が 16.5%などとなっています。



【小学校区別】

小学校区別にみると、「長岡第五小学校区」は「事業に参加したことがある」が、「長岡第三小学校区」は「団体発行ニュースを見たことがある（事業に参加したことはない）」が、「長岡第七小学校区」は「名前を聞いたことがある程度であり、概要はわからない（事業に参加したことはない）」が他の小学校区より多くなっています。

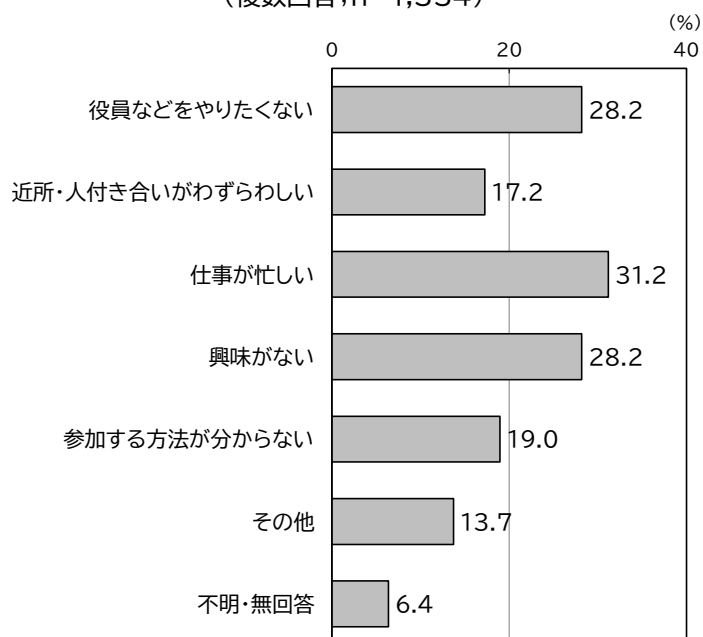
「神足小学校区」は「知らない」が他の小学校区よりも多くなっています。



③ 自治会や地域コミュニティ協議会に参加しない理由

「仕事が忙しい」が最も多く 31.2%、次いで「役員などをやりたくない」「興味がない」がそれぞれ 28.2%などとなっています。また、「参加する方法が分からない」が 19.0%となっています。

自治会や地域コミュニティ協議会に参加しない理由
(複数回答;n=1,334)

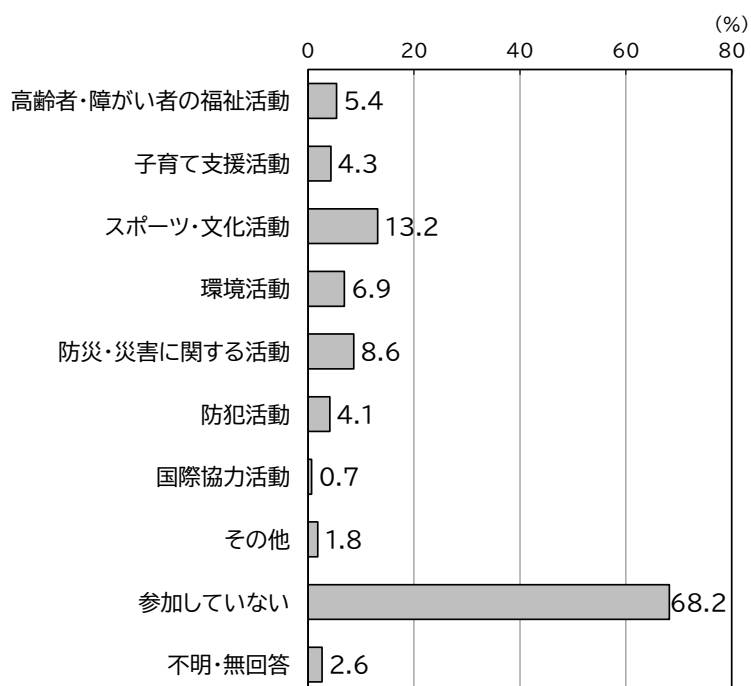


(3) 市民活動への参加状況等

① 参加状況

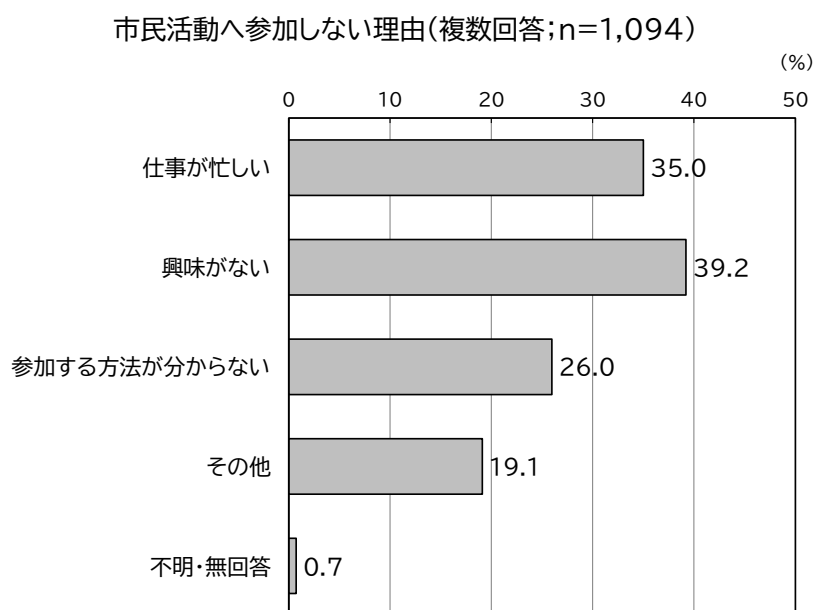
「参加していない」が最も多く 68.2%、次いで「スポーツ・文化活動」が 13.2%、「防災・災害に関する活動」が 8.6%などとなっています。

市民活動への参加状況(複数回答;n=1,604)



② 市民活動へ参加しない理由

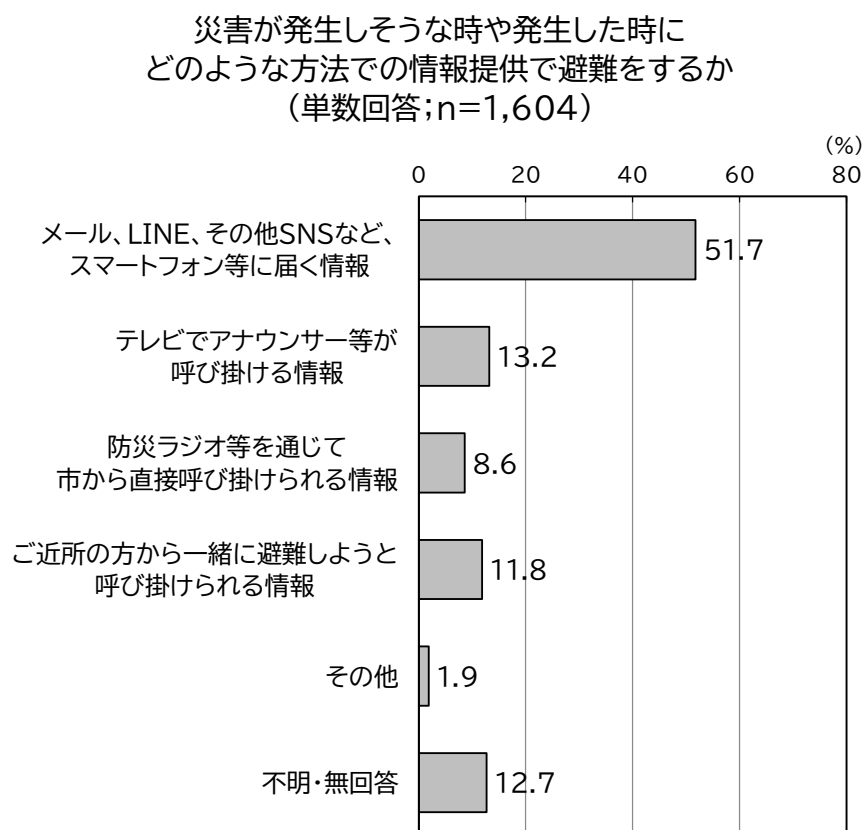
「興味が無い」が最も多く 39.2%、次いで「仕事が忙しい」が 35.0%、「参加する方法が分からない」が 26.0%などとなっています。



5. 個別施策について

(1) 災害が発生しそうな時や発生した時にどのような方法での情報提供で避難をするか

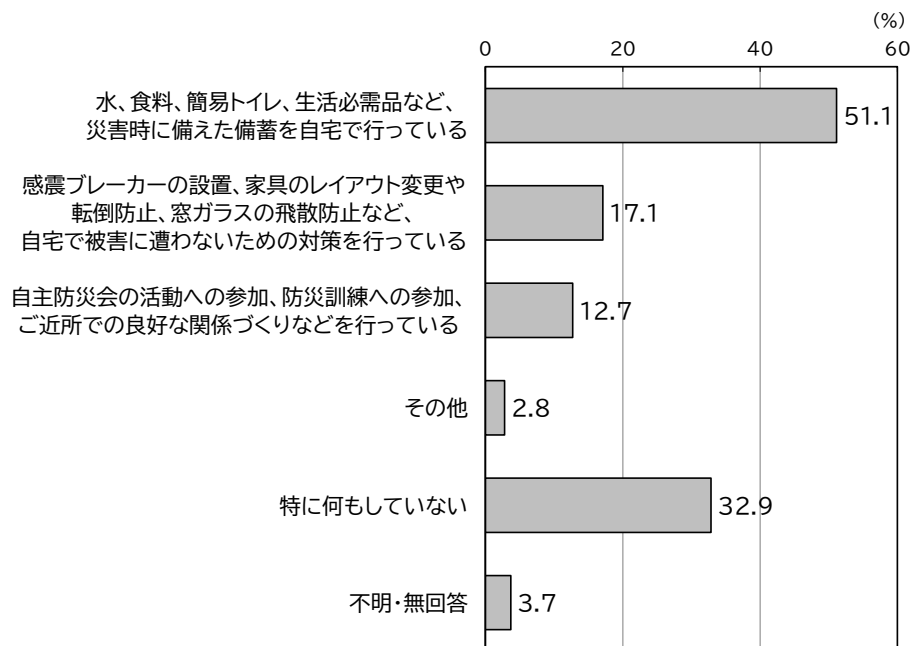
「メール、LINE、その他 SNS など、スマートフォン等に届く情報」が最も多く 51.7%、次いで「テレビでアナウンサー等が呼び掛ける情報」が 13.2%、「ご近所の方から一緒に避難しようと呼び掛けられる情報」が 11.8%などとなっています。



(2) 家庭での災害の備え

「水、食料、簡易トイレ、生活必需品など、災害時に備えた備蓄を自宅で行っている」が最も多く 51.1%、次いで「特に何もしていない」が 32.9%、「感震ブレーカーの設置、家具のレイアウト変更や転倒防止、窓ガラスの飛散防止など、自宅で被害に遭わないための対策を行っている」が 17.1%などとなっています。

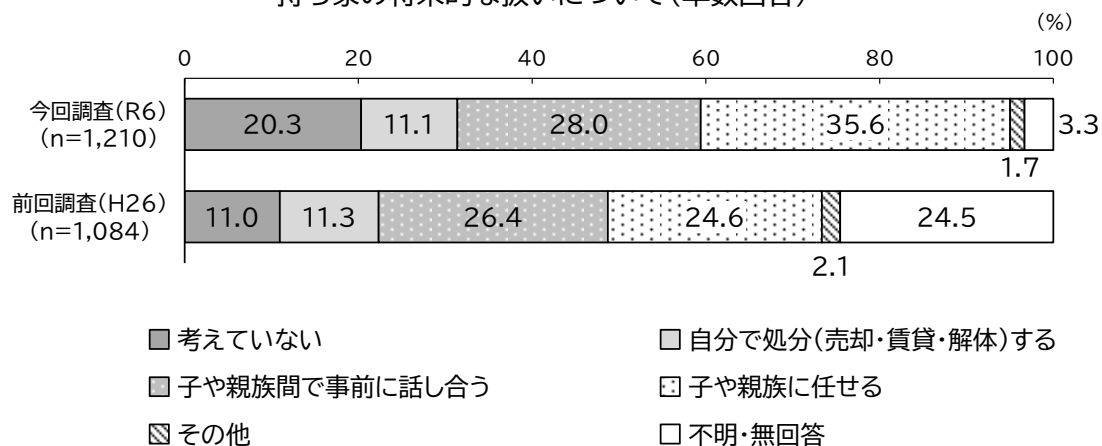
家庭での災害の備え(複数回答;n=1,604)



(3) 持ち家の将来的な扱いについて(持ち家に居住している人のみ回答)

「子や親族に任せる」が最も多く 35.6%、次いで「子や親族間で事前に話し合う」が 28.0%、「考えていない」が 20.3%などとなっています。

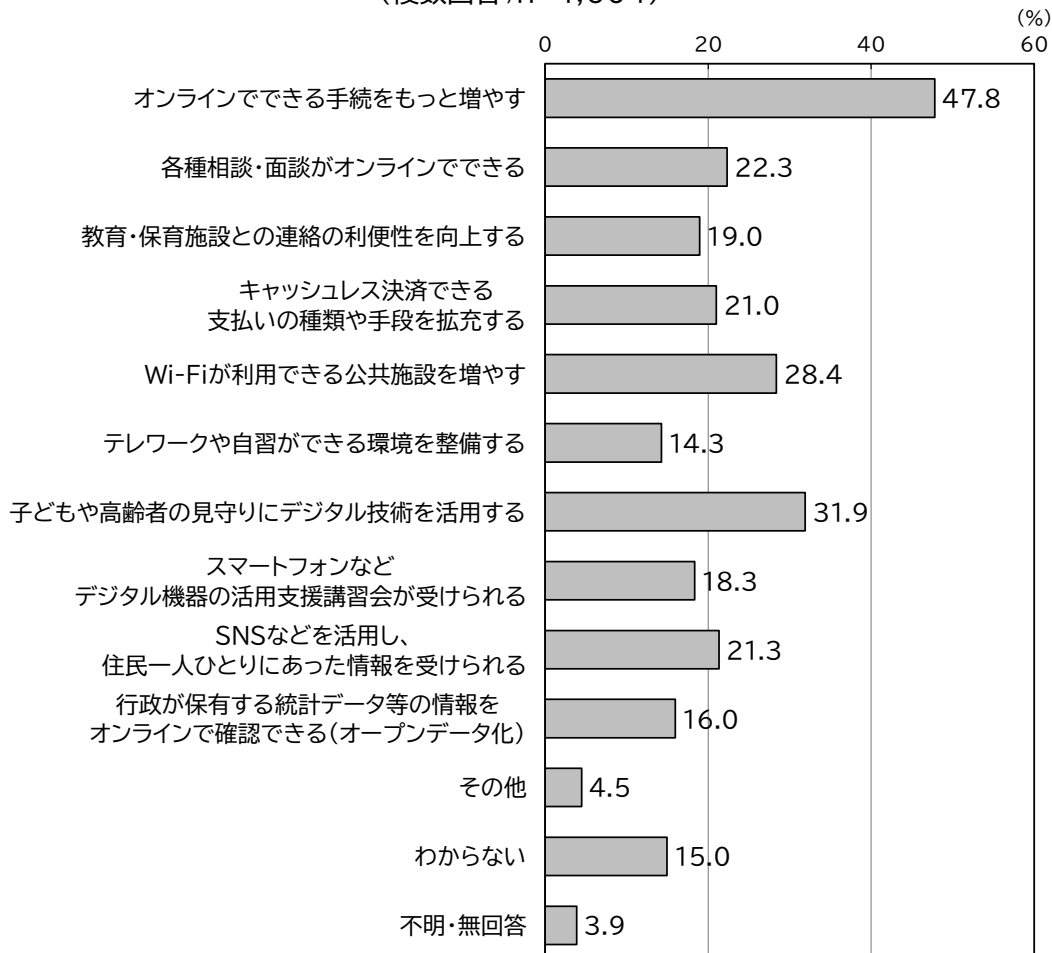
持ち家の将来的な扱いについて(単数回答)



(4) 市民の利便性向上のために必要なデジタル化の取組

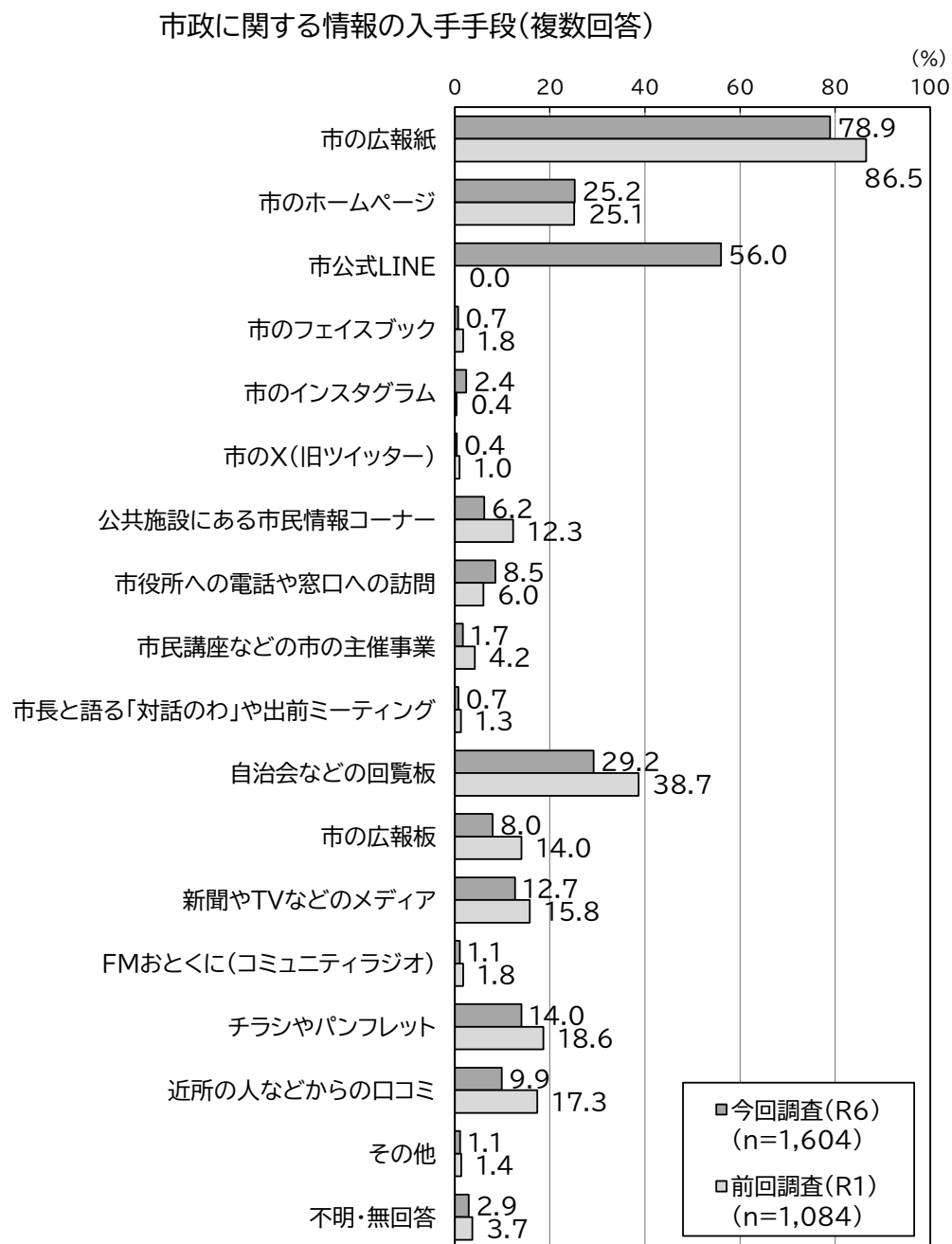
「オンラインでできる手続きをもっと増やす」が最も多く 47.8%、次いで「子どもや高齢者の見守りにデジタル技術を活用する」が 31.9%、「Wi-Fi が利用できる公共施設を増やす」が 28.4%などとなっています。

市民の利便性向上のために必要なデジタル化の取組
(複数回答;n=1,604)



(5) 市政に関する情報の入手手段

「市の広報誌」が最も多く 78.9%、次いで「市公式LINE」が 56.0%、「自治会などの回覧板」が 29.2% などとなっています。

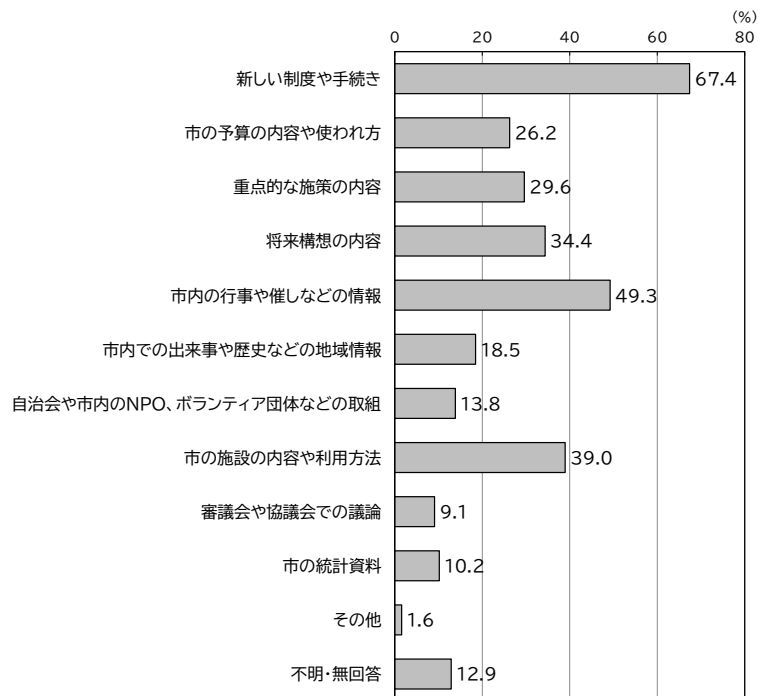


(6) 市政で知りたい情報と情報を得る手段

① 知りたい情報

「新しい制度や手続き」が最も多く 67.4%、次いで「市内の行事や催しなどの情報」が 49.3%、「市の施設の内容や利用方法」が 39.0%などとなっています。

市政で知りたい情報(複数回答;n=1,604)



② 知りたい情報別の情報を得る手段

「①知りたい情報」として回答の多かった「新しい制度や手続き」「市内の行事や催しなどの情報」「市の施設の内容や利用方法」「将来構想の内容」「重点的な施策の内容」について、情報を得る手段の上位3位は下表のとおりです。

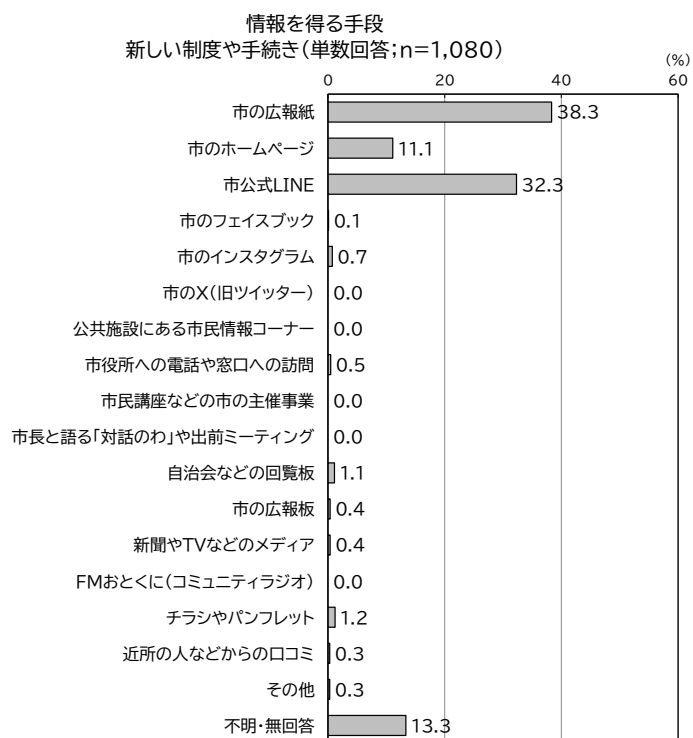
「市の広報誌」「市公式LINE」「市のホームページ」が利用されており、「市のホームページ」よりも「市公式LINE」の利用が多くなっています。

(%)

		知りたい情報				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
		新しい制度や 手続き 67.4	市内の行事や 催しなどの情報 49.3	市の施設の内容 や利用方法 39.0	将来構想の内容 34.4	重点的な施策の 内容 29.6
情報を 得る 手段	第1位	市の広報紙 38.3	市公式LINE 34.8	市の広報紙 29.2	市の広報紙 42.0	市の広報紙 42.3
	第2位	市公式LINE 32.3	市の広報紙 33.9	市公式LINE 25.6	市公式LINE 19.3	市公式LINE 20.0
	第3位	市のホームページ 11.1	市のホームページ 6.2	市のホームページ 19.1	市のホームページ 14.2	市のホームページ 12.6

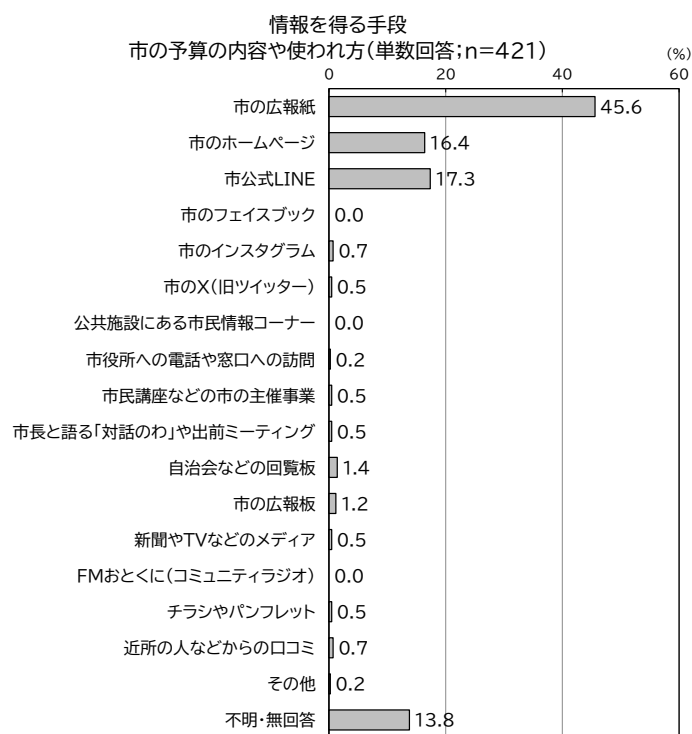
【新しい制度や手続き】

「市の広報誌」が最も多く 38.3%、次いで「市公式 LINE」が 32.3%、「市のホームページ」が 11.1% などとなっています。



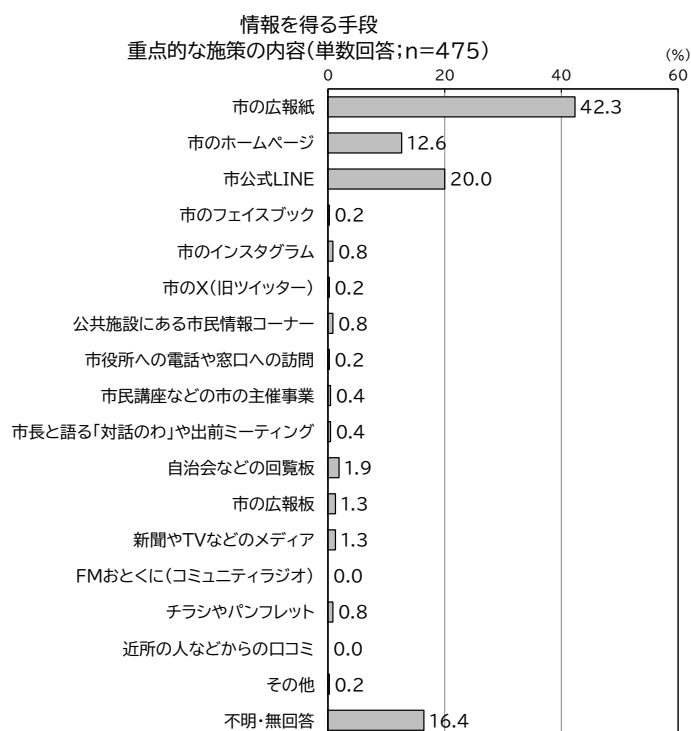
【市の予算の内容や使われ方】

「市の広報誌」が最も多く 45.6%、次いで「市公式 LINE」が 17.3%、「市のホームページ」が 16.4% などとなっています。



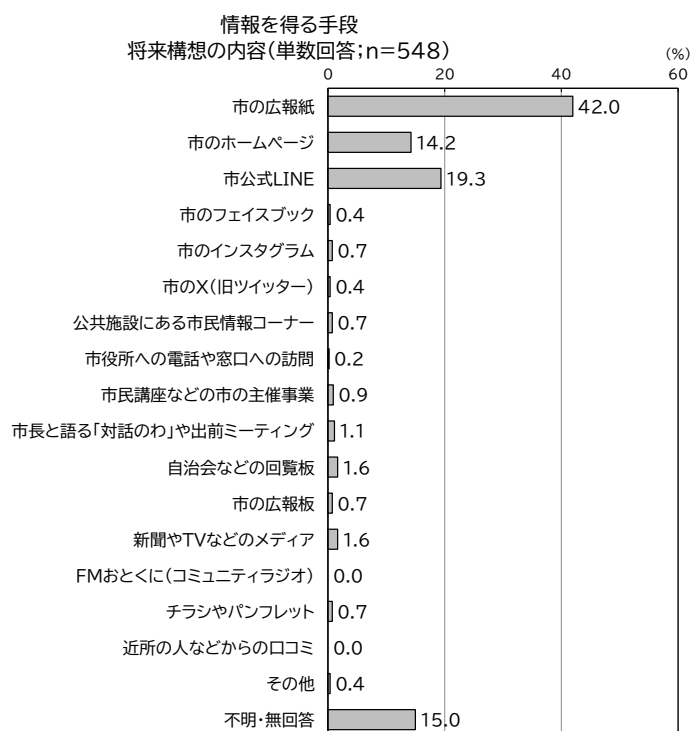
【重点的な施策の内容】

「市の広報誌」が最も多く 42.3%、次いで「市公式 LINE」が 20.0%、「市のホームページ」が 12.6% などとなっています。



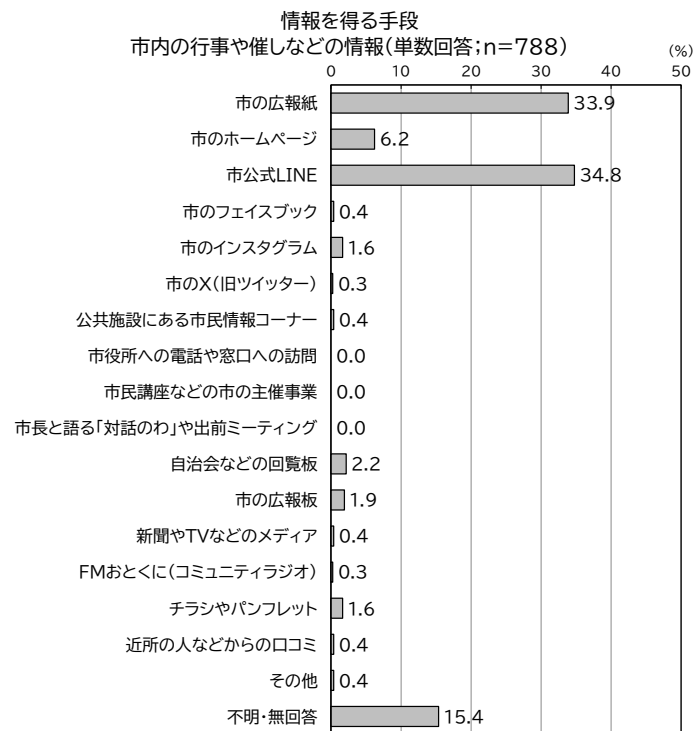
【将来構想の内容】

「市の広報誌」が最も多く 42.0%、次いで「市公式 LINE」が 19.3%、「市のホームページ」が 14.2% などとなっています。



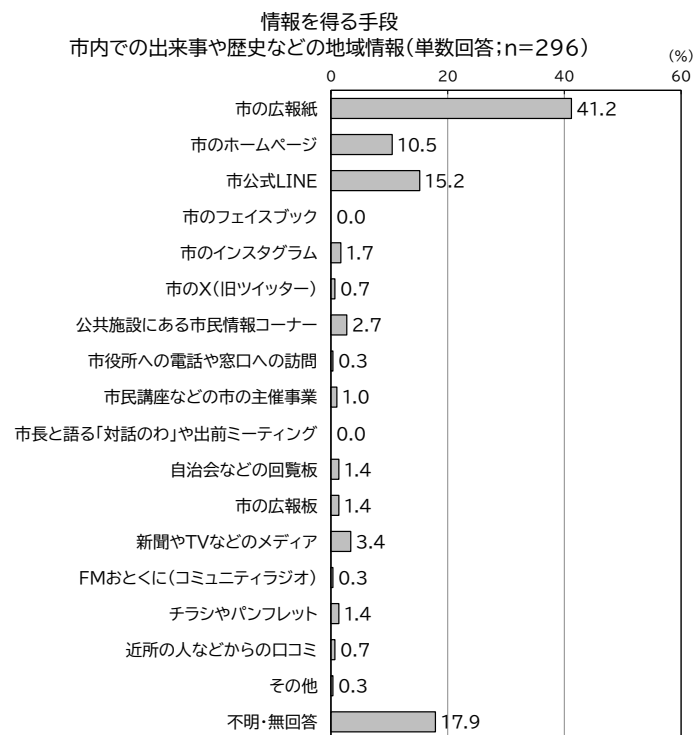
【市内の行事や催しなどの情報】

「市公式LINE」が最も多く 34.8%、次いで「市の広報誌」が 33.9%、「市のホームページ」が 6.2% などとなっています。



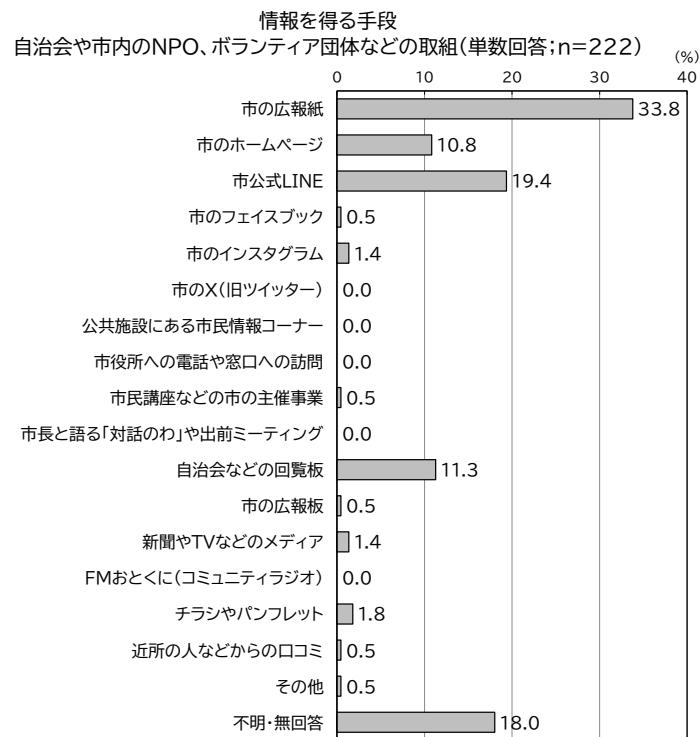
【市内での出来事や歴史などの地域情報】

「市の広報誌」が最も多く 41.2%、次いで「市公式LINE」が 15.2%、「市のホームページ」が 10.5% などとなっています。



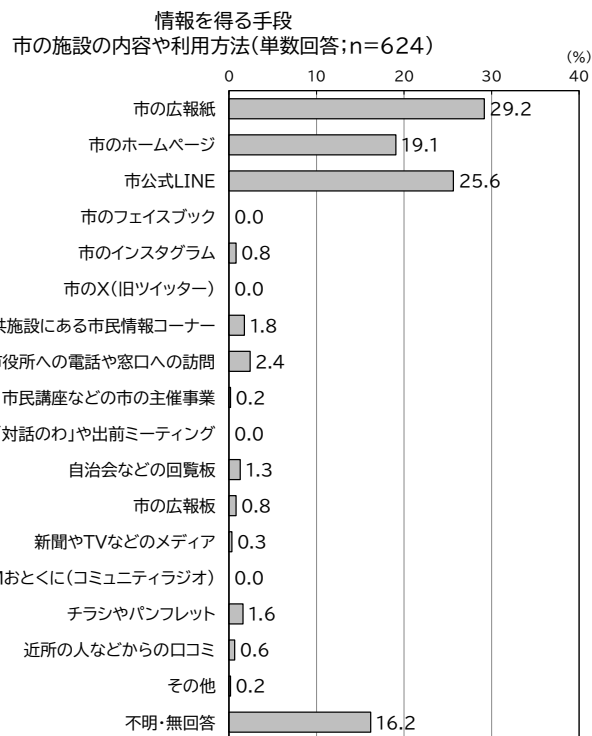
【自治会や市内のNPO、ボランティア団体などの取組】

「市の広報誌」が最も多く 33.8%、次いで「市公式 LINE」が 19.4%、「自治会などの回覧板」が 11.3% などとなっています。



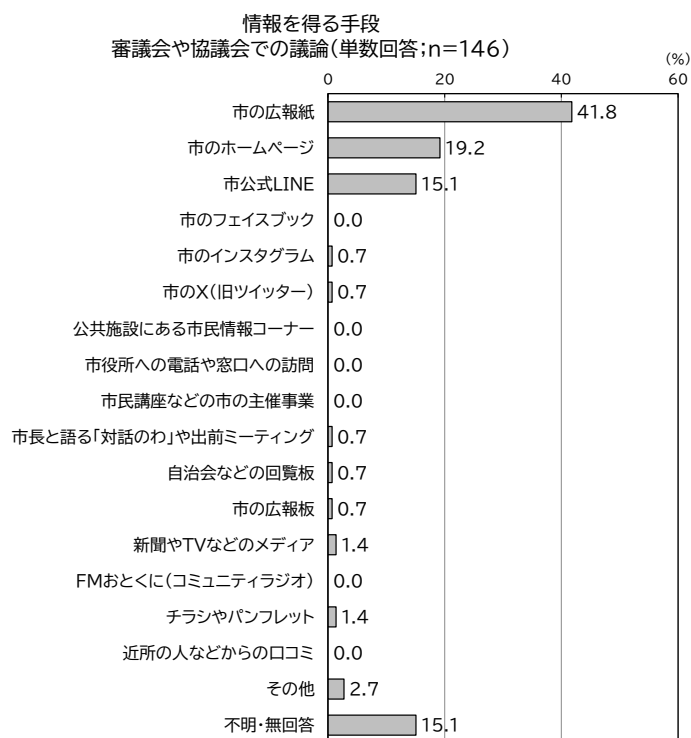
【市の施設の内容や利用方法】

「市の広報誌」が最も多く 29.2%、次いで「市公式 LINE」が 25.6%、「市のホームページ」が 19.1% などとなっています。



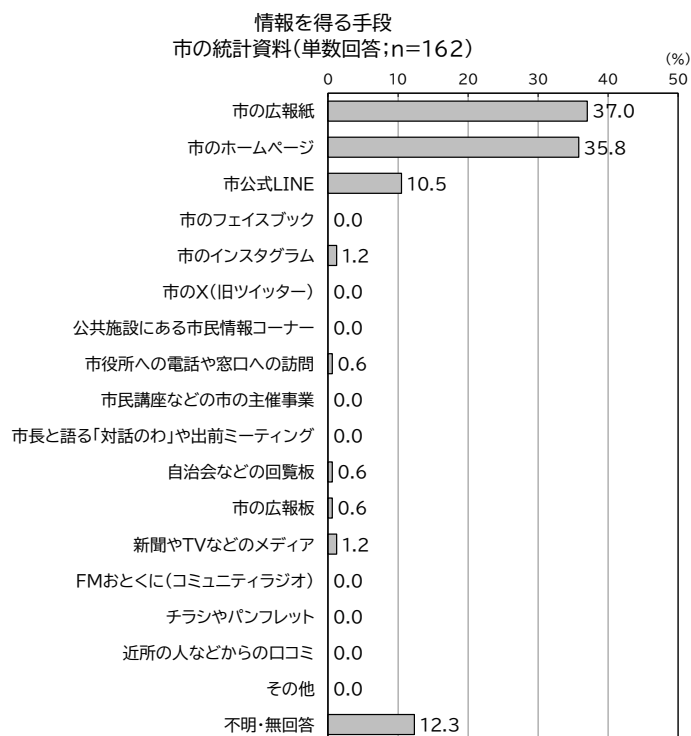
【審議会や協議会での議論】

「市の広報誌」が最も多く 41.8%、次いで「市のホームページ」が 19.2%、「市公式 LINE」が 15.1% などとなっています。



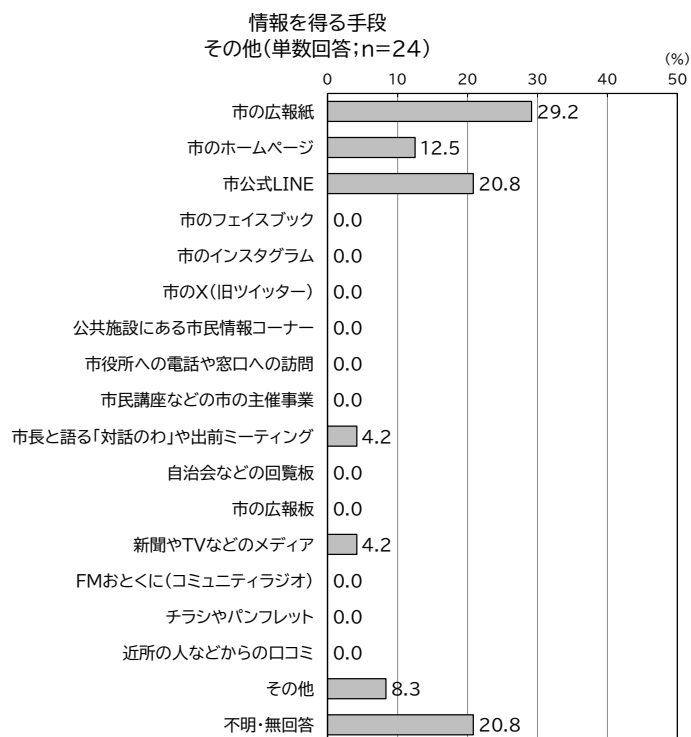
【市の統計資料】

「市の広報誌」が最も多く 37.0%、次いで「市のホームページ」が 35.8%、「市公式 LINE」が 10.5% などとなっています。



【その他】

「市の広報誌」が最も多く 29.2%、次いで「市公式 LINE」が 20.8%、「市のホームページ」が 12.5% などとなっています。



(7) 市内での買物等の状況

『0～3 割』(「0～1 割」「2～3 割」の合計)について、「⑤趣味・娯楽」が最も多く 63.9%、次いで「⑥飲食(外食)夜」が 61.2%、「⑥飲食(外食)昼」が 59.7%などとなっています。

『8～10 割』(「8～9 割」「10 割」の合計)について、「①食料品」が最も多く 66.5%、次いで「⑦理・美容サービス」が 55.6%、「②日用品」が 53.7%などとなっています。

